

## 令和4年度 池尻・三宿地区防災塾 実施報告書

世田谷総合支所地域振興課  
池尻まちづくりセンター

### (1) 実施日

令和4年11月19日（土曜日）14：00～16：00

### (2) 会場

池尻まちづくりセンター地下1階 第1会議室

### (3) 講師

せたがや防災NPOアクション 宮崎 猛志 氏

### (4) 参加人数：59名

内 訳：参加者40名、NPO2名、昭和女子大学学生8名、同大学職員1名、  
あんしんすこやかセンター職員1名、区職員7名

参加団体：管内8町会・自治会、世田谷消防署三宿出張所、世田谷消防団第一分団、民生委員・児童委員、日赤池尻分団、食糧学院、デイホーム三宿、小規模多機能ホーム三宿、三宿つくしんぼホーム、三宿小PTA、多間小PTA、

### (5) テーマ

ウィズコロナ時代のコミュニティ防災

『避難所運営の実際と避難生活を考える』『首都直下地震被害想定を読み解く』

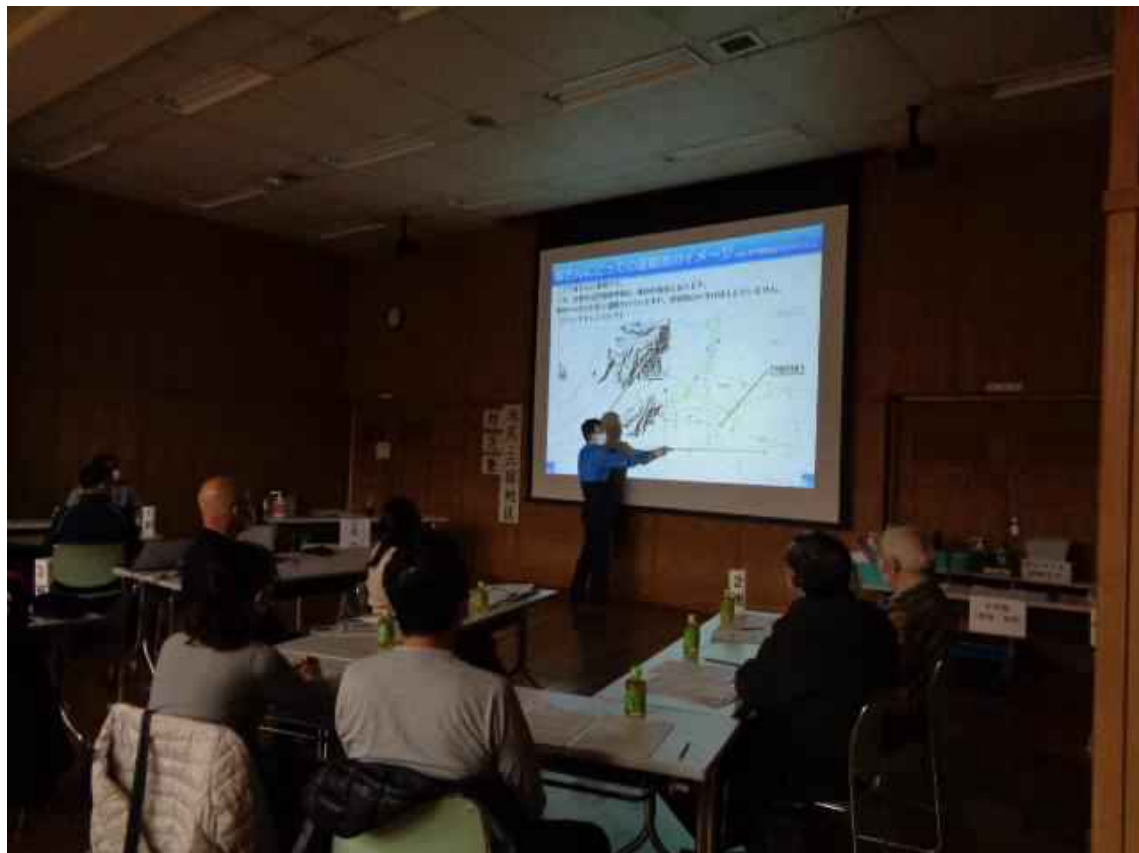
### (6) 実施内容

- ① 開会（14：00～14：05）
- ② 講演「避難所運営の実際と避難生活を考える」（14：05～15：25）
  - ・ 講演
  - ・ グループ内で意見交換
  - ・ 質疑応答、講師による講評
- ③ 休憩、発表準備（15：25～15：30）
- ④ 地域交流ラボ（昭和女子大学学生による研究発表）（15：30～15：50）
  - ・ 趣旨説明
  - ・ 学生による研究発表（中間報告）
    - 発表①防災講座チーム「『ファミリー避難所』提案に向けて」
    - 発表②防災備品チーム「備蓄品提案に向けた活動報告」
  - ・ 質疑応答、講師による講評
- ⑤ 閉会（15：55～16：00）

## (7) 成果物

### ①講演「避難所運営の実際と避難生活を考える」

#### 講師による講演



#### 意見交換の様子





## ②地域交流ラボ（昭和女子大学学生による研究発表（中間報告））

学生による発表の様子





## 参加者感想



### ③まとめ



#### 「コロナ禍を逆手にとった避難所運営のススメとその準備」

- ・「避難所に行かない」（在宅避難）
- ・「屋外避難の黙認」（車中泊、テント）
- ・「隣の隣町ぐらいに避難」（直下型等で範囲の狭い災害の場合、有効）
- ・避難所では、避難者への情報提供のための掲示物が山のように膨らみ、必要な情報が得にくくなりやすい。掲示板を多数用意しつつ、必要な情報が埋もれないよう、定期的なチェック（更新）が欠かせない。
- ・避難所のリーダーによる迅速な判断が求められる。もし支援の申し出があったら断らず即決すること！被災地では、企業などによる支援（キッチンカー等）が来ることがあるが、支援の申し出を断ったり即決できないと、すぐ別の避難所に行ってしまう。（企業などにとっては、すぐにでも支援を始めたいため、展開できれば支援する場所（避難所）は問わない。）

### ④アンケート集計

別紙のとおり

# 4年度 防災塾

ウィズコロナ時代のコミュニティ防災  
『避難所運営の実際と避難生活を考える』  
＋首都直下地震被害想定を読み解く

せたがや防災NPOアクション

©2022 せたがや防災NPOアクション 無断転載禁止

## せたがや防災NPOアクション

せたがや防災NPOアクション

区内のNPO団体が、平時より顔の見える関係を築くとともに、発災時においてNPO団体同士の連携が図られるよう、ネットワーク化することを目的に、2014年5月に発足しました。ひっ迫する首都直下地震、激甚化する台風に備え、地域のみなさまとともに、私たちのまちを、災害に強い世田谷をめざし、一緒に活動する仲間を増やしていきたいと考えています。

- 活動テーマごとの分科会の実施－運営
- 全体会の企画・立案・実施
- 訓練（図上演習、情報連絡訓練）の実施
- 区内・区外の支援団体との関係づくり
- 防災塾、イベント・訓練等、地域の方との連携関係づくり
- 4者（区、社協、ボラ協、NPO）による連携体制への協力

○実は、昔から基本は在宅での避難生活だった！

～阪神大震災、東日本大震災の避難生活を振り返って～

○コロナ禍を逆手に取った避難所運営のススメとその準備

○首都直下地震被害想定を読み解く

○避難所から、被災者支援拠点に！

©2022 セタがや防災NPOアクション 無断転載禁止

## 皆さんにとっての避難所のイメージ

せたがや防災NPOアクション

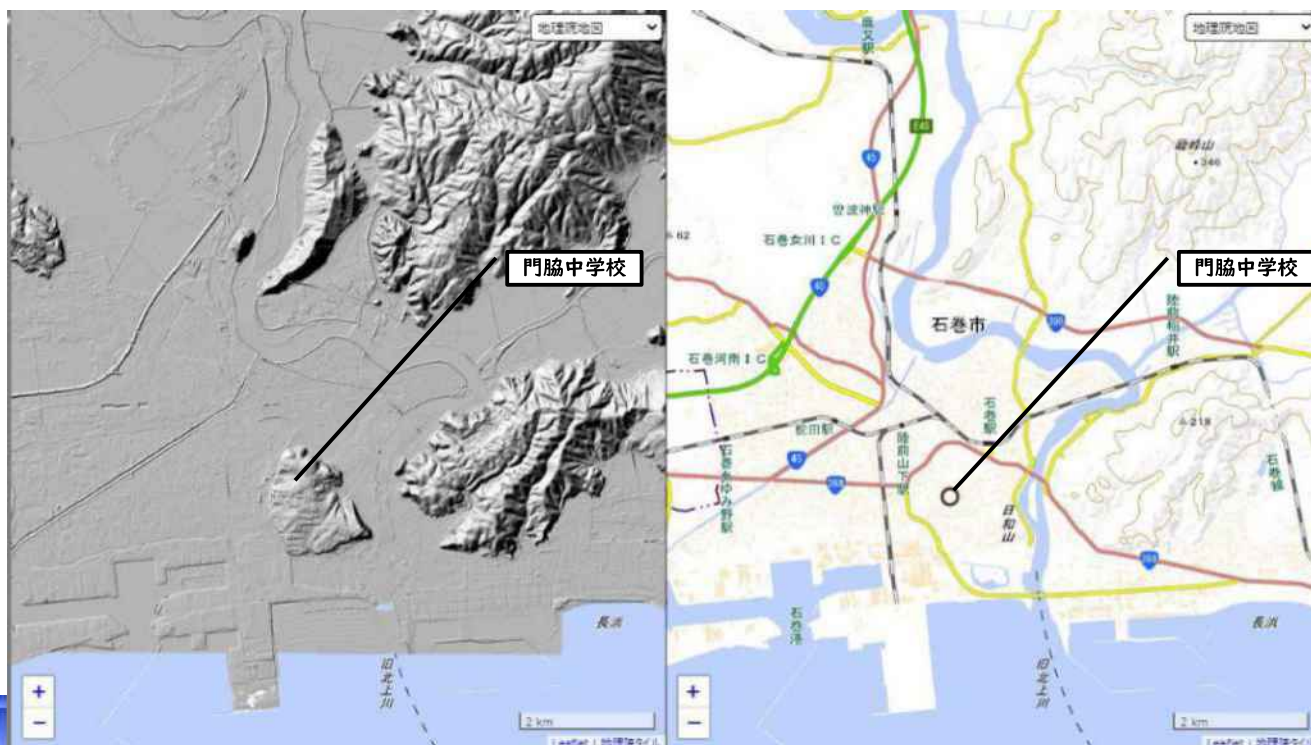


ここで皆さんに質問です。

この、石巻市立門脇中学校は、市内の高台にあります。

海沿いの方々が多く避難されていますが、学校周辺の方はほとんどいません。

【どうしてでしょうか？】



# 皆さんにとっての避難所のイメージ

停電、断水していたとしても、

「津波で家が流されていない方は、在宅での避難生活を選択しています」

みなさんは、家が無事でも、この写真のような体育館でも、

避難所に入れてくれと言いますか？





禁止

## 皆さんにとっての避難所のイメージ

せたがや防災NPOアクション

### 1995年 阪神大震災

○避難人数（ピーク時）：316,678人

住家被害：全壊104,906棟、半壊144,274棟

全半壊合計249,180棟（約46万世帯）、一部損壊390,506棟

\*震災直前の1995年（平成7年）1月1日の神戸市の推計人口

152万0365人

\*一部損壊（＋半壊世帯の一部）→どこで避難生活？

## 『避難行動』と『避難生活』 この違いを意識しましょう！

### 【地震の場合】

家の周りはどうなっているの？・・・一時集合場所  
火事が起きて延焼が始まっている！・・・広域避難場所  
自宅が壊れて生活できない！・・・公設避難所

..... ここまでが『避難行動』  
..... ここからが『避難生活』

どこで『避難生活』を送りますか？  
自宅 or 避難所 or ???

©2022 せたがや防災NPOアクション 無断転載禁止

せたがや防災NPOアクション

## 《災害救助法での救助対象者の定義は？》

救助の対象（第2条）は、「災害によって被害を受け、現に救助を必要とするもの」

⇒避難所に避難した被災者だけに限定していない。

⇒自宅、勤務先などにいても、救助を必要とする場合は支援対象となる。

▼「救助を必要とする場合」とは ⇒ ライフラインの停止

## 「在宅避難」とは

災害が発生したときに、あなた自身や家族にケガがなく、住居にも危険な損傷がなければ、多少不便であっても、自宅で避難生活を送ることです。  
住み慣れた家で暮らすことによってストレスが減り、心身の健康を保ちやすくなるというメリットがあります。（世田谷区HPより）



災害関連死の予防

## 「分散避難」とは

大勢が「指定避難所」に密集する避難生活状態を避けるために、「在宅避難」を含め、「自主避難」「縁故避難」「疎開避難」「車中避難」「庭先避難」といった、避難生活時の命を守るための選択肢を確保しておくことが大切。



災害関連死の予防

©2022 せたがや防災NPOアクション 無断転載禁止

# 近年の自然災害時の避難生活について

せたがや防災NPOアクション

### 「静岡県熱海市の土石流」

新形コロナ感染拡大による休業中だった、市内の観光ホテル2カ所を避難所として使用。

最初は市役所近くの施設。空き部屋の床にマットを敷いただけの簡素な設備。

### 「佐賀大雨8/11～14（武雄、大町、嬉野）」

公民館、福祉センター、小中学校など、普通の避難所。

20日から、公営住宅の一時的な仮入居受付 → 長期避難所扱い

### 「（2020年）熊本県球磨川氾濫」

指定避難所だったところが数カ所浸水したため、屋根だけの避難所で過ごす。

→ その後中学校などに移送。  
避難所運営をNPOに委託。



### 「（2019年）房総半島台風」

夏場（9月）長期間にわたる停電による、体調不良対策。情報ツールが使用できないストレス。

○実は、昔から基本は在宅での避難生活だった！

## ○コロナ禍を逆手に取った 避難所運営のススメとその準備

○首都直下地震被害想定を読み解く

○避難所から、被災者支援拠点に！

©2022 せたがや防災NPOアクション 無断転載禁止

## コロナ禍における避難所について考える

せたがや防災NPOアクション

### 新型コロナウイルス 避難生活お役立ちサポートブック

JVOAD（認定NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク）

ゾーニングや受付設置方法、入室時の健康チェック表など図解・解説が掲載されていますので、ダウンロードしてください。



第4版（2021年5月26日）

<http://jvoad.jp/guideline/>

## 1. 避難所に行かない（在宅避難）

## 2. 屋外避難を黙認する（車中泊、テント）

## 3. 隣の隣町くらいに脱出（越境避難、疎開避難）

©2022 せたがや防災NPOアクション 無断転載禁止

# 帰宅困難者、滞留者について

せたがや防災NPOアクション



支援施設を知っておこう！

| 施設            | 設置時期         | 支援次項         |
|---------------|--------------|--------------|
| 一時滞在施設        | 発災から最大3日程度   | 避難所に準じる。     |
| 帰宅困難者支援施設     | 発災から24時間程度まで | 飲料水、トイレ、休憩所  |
| 災害時帰宅支援ステーション | 発災後、都からの要請   | 飲料水、トイレ、支援情報 |

【一時滞在施設】国際高校、駒場高校、松原高校、世田谷市場、世田谷総合高等学校、駒沢オリンピック公園総合運動場、総合工科高等学校、園芸高等学校、深沢高等学校

【帰宅困難者支援施設】太子堂区民センター、上馬地区会館、代田区民センター、上北沢区民センター、経堂地区会館、北沢総合支所、深沢区民センター、桜新町区民集会所、砧区民会館成城ホール、大蔵第二運動場ロビー、烏山区民センター、世田谷郵便局

【災害時帰宅支援ステーション】



1. 看板の作成（在宅避難の指示）

2. 避難所運営計画の見直し（ゾーニング）

3. 受け入れ態勢の整備（受付、衛生・感染対策）

4. 協力の呼びかけ（回覧板、掲示板）

©2022 せたがや防災NPOアクション 無断転載禁止

## 1. 看板の作成

せたがや防災NPOアクション

（例）

避難されてきたみなさまへ

新型コロナウイルスに対する感染  
予防とクラスター対策の一環で、  
〇〇〇学校避難所では、火事で焼け  
出された、家屋が倒壊したなど  
やむを得ない事情がある方のみ、  
受け入れいたします。  
自宅が無事な方は全員「在宅避難」  
生活をお願いいたします。

〇〇〇学校避難所運営委員会  
委員長 世田谷 太郎

(例)

帰宅困難者、駅前滞留者のみなさま

〇〇学校避難所は、地域住民に向けて開設された避難所です。

帰宅困難者向け避難所は「国際高校、駒場高校」です。

また、休憩や各種支援情報は「太子堂区民センター、上馬地区会館」で提供されます。

その他、◇◇や××が支援ステーションとなっています。受付で地図をお渡しします。ご協力をお願いいたします。

〇〇〇学校避難所運営委員会  
委員長 世田谷 太郎

©2022 セタがや防災NPOアクション 無断転載禁止

## 2. 避難所運営計画の見直し

せたがや防災NPOアクション

## 収容場所の見直しと居住区分の設定（ゾーニング）

| ゾーン | 状態                 | 対応                                                     |
|-----|--------------------|--------------------------------------------------------|
| A   | 咳・発熱等<br>感染の疑いがある人 | 暫定的に専用の部屋を準備<br><u>移送支援依頼</u>                          |
| B   | 濃厚接触者              | 症状がある人の家族で無症状の人も暫定的専用部屋、Bゾーンで（間隔に配慮）<br><u>移送支援依頼</u>  |
| C   | 自宅療養者              | <u>暫定的に専用の部屋を準備</u><br><u>移送支援依頼</u>                   |
| D   | 要配慮者               | 暫定的専用部屋か、一般のスペース内に福祉避難スペースを確保<br><u>母子・福祉避難所への移送依頼</u> |
| E   | その他一般の人            | 一般の避難スペースへ                                             |

手指の消毒・・・手洗い→乾燥→アルコール

手洗い水の確保（防災用井戸など）  
石鹼を持ちよる

ふき取り清掃・・・手袋→アルコール→ペーパータオル

スーパーの袋を持ち寄る  
次亜塩素酸ナトリウム溶液の作成（注意事項多い）  
（拭き掃除0.05%、500mlにキャップ1杯）

その他・・・段ボールの備蓄→パーテーション用  
養生テープなどの備蓄  
ゴミ袋の備蓄  
感染予防着の準備

©2022 せたがや防災NPOアクション 無断転載禁止

### 4. 協力の呼びかけ

せたがや防災NPOアクション

回覧板、掲示板で協力の呼びかけ

○在宅避難のお願い

○避難所(サテライト)運営のお手伝いのお願い(在宅避難者で)

○物品の持ち寄りのお願い

- ・体温計
- ・塩素系漂白剤
- ・台所用洗剤、石鹼
- ・スーパーの袋
- ・ペーパータオル、タオル、手ぬぐい
- ・段ボール、養生テープ、PPロープ、はさみ等
- ・そのほか、必要な物

※運営者側を支援するためのもの

1. 移送手段の確保、体制づくり(行政)

2. 衛生物資の配布、長期避難所の確保(行政)

3. 在宅避難者への物資、情報提供体制づくり

4. 避難所の在り方の検討、刷新

©2022 せたがや防災NPOアクション 無断転載禁止

## せたがや防災NPOアクション

せたがや防災NPOアクション

○実は、昔から基本は在宅での避難生活だった！

○コロナ禍を逆手に取った避難所運営の勧めとその準備

○首都直下地震被害想定を読み解く

○避難所から、被災者支援拠点に！

異なる震源の複数の地震  
が想定されている。

首都圏何処でも震度6強以  
上の可能性あり。

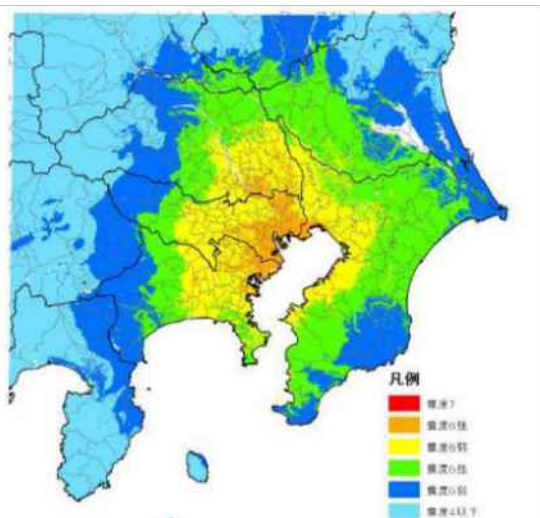
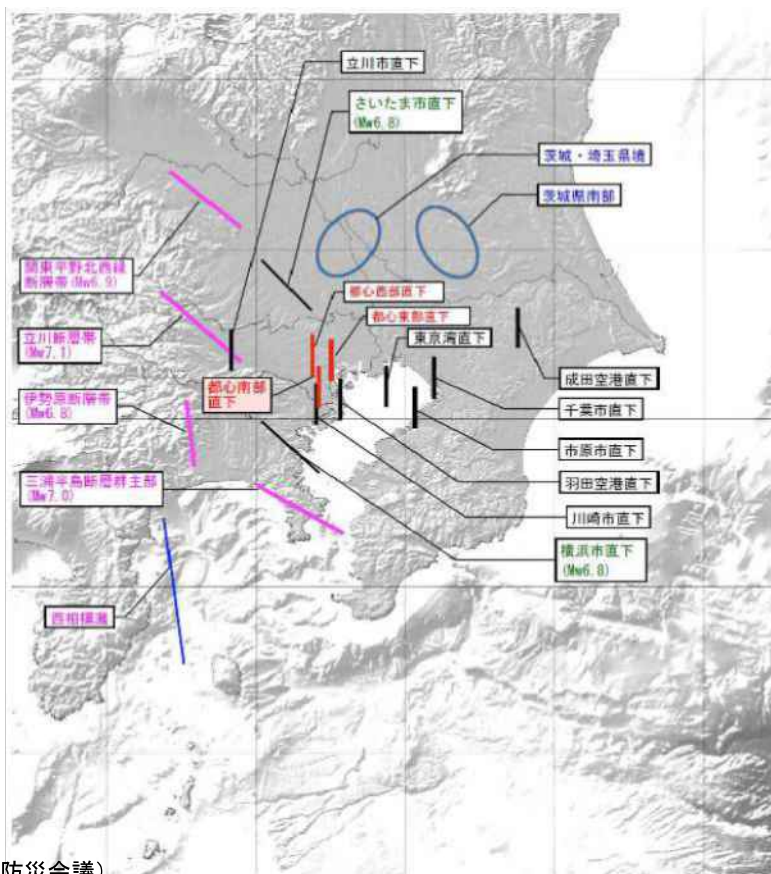


図 震度分布（都心南部直下地震）

（出典：中央防災会議）



©2022 セタがや防災NPOアクション 無断転載禁止

## 10年間の主な取組と減災効果

- 都は、東日本大震災以降、首都直下地震等に備え、一層の防災力の強化を推進
- 今回の想定結果においても、こうした取組の効果が確実に発現
- 引き続き、こうした対策を加速化するとともに、自助・共助の取組の一層の強化を図り、さらなる減災を推進

|       | 過去10年の取組                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 今回の被害想定との減災効果                                                                                                                                                                                                |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 耐震化   | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化率 81.3%→91.6%</li> <li>✓ 住宅の耐震化率 81.2%→92.0%</li> <li>○ 東京都耐震改修促進計画に基づく耐震化の促進</li> <li>○ 耐震化推進条例を制定し、平成24年から特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震診断を義務化、改修費用の助成を実施。平成30年からは耐震診断結果を公表</li> <li>○ 区市町村に対する財政支援や所有者への専門家派遣等による、住宅等の耐震診断や耐震改修の促進</li> <li>○ 都独自の東京都耐震マーク表示制度等による普及啓発の実施</li> </ul>                                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 建物全壊棟数 12万棟→8万棟</li> <li>✓ 揺れによる死者数 5,100人→3,200人</li> <li>・ 人的・物的被害の想定は減少したものの、未だ甚大な被害が想定されるため、耐震化の一層の促進に向けた仕組みを構築する必要</li> </ul>                                  |
| 不燃化   | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 木造住宅密集地域 約16千ha→約8.6千ha</li> <li>✓ 不燃領域率（整備地域） 58.4%→64.0%</li> <li>○ 木密地域不燃化10年プロジェクトを掲げ、特別な支援により不燃化を推進する不燃化特区制度の活用と、延焼遮断帯を形成する特定整備路線の整備を一体的に進め、特に甚大な被害が想定される整備地域の不燃化を推進</li> <li>✓ 消防団員数 2.4万人→2.2万人</li> <li>○ 一方、消火活動や救助活動など地域防災の重要な役割を担う消防団員は減少</li> </ul>                                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 焼失棟数 20万棟→12万棟</li> <li>✓ 火災による死者数 4,100人→2,500人</li> <li>・ 人的・物的被害の想定は減少したものの、未だ甚大な被害が想定</li> <li>・ 一方、消防団員の減少など、地域の防災力低下も懸念されるため、ハードはもとよりソフト対策も取組強化が必要</li> </ul> |
| 自助・共助 | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 家具類転倒防止等実施率 53.6%→57.3%</li> <li>✓ 日常備蓄の実施率※ 46.4%→56.3%</li> <li>※2017年度からの変化</li> <li>○ 災害への備えを万全にする「東京防災」「東京くらし防災」を作成・配布</li> <li>○ 「東京備蓄ナビ」により、食料や生活必需品等の備蓄を推進</li> <li>○ 女性のリーダー的人材を育成する防災コーディネーター研修の実施</li> <li>○ 「東京防災学習セミナー」を都内各所で開催</li> <li>✓ 防災分野に力を入れてほしいと回答した人の割合 53.4→41.2%</li> <li>○ 一方、都民の防災分野に対する都政への期待値は低21傾向</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 家具転による死者数 260人→240人</li> <li>・ 様々なツールにより都民による「備え」を促すことで、自宅の防災対策は一定程度向上</li> <li>・ 一方、時間の経過とともに大震災の教訓の風化がうかがわれ、今回の被害想定で明らかになった、新たなリスク等も踏まえた都民の防災意識の向上が不可欠</li> </ul> |

## 防災・減災対策による被害軽減効果 (冬・夕方/風速8m/s)

○ 建物耐震化等の現況に基づく被害量から、今後対策を進めた場合の被害軽減効果を推計

### 耐震化の推進



### 家具転倒防止対策



## 防災・減災対策による被害軽減効果 (冬・夕方/風速8m/s)

○ 建物耐震化等の現況に基づく被害量から、今後対策を進めた場合の被害軽減効果を推計

### 出火防止対策の推進



各種対策を推進することにより、被害を大幅に軽減することが可能

## 被害想定算出時の世田谷区概況

|                                         |                           |
|-----------------------------------------|---------------------------|
| 建物総数：189,303棟<br>(木造：128,950、非木造60,353) | 人口：943,664人               |
| 全壊：6,464棟                               | 死者：645人                   |
| 半壊：17,036棟                              | 負傷：7,132人<br>(内、重傷1,212人) |
| 焼失：19,989棟                              | 避難者：252,337人              |

©2022 せたがや防災NPOアクション 無断転載

# 世田谷はどんなっちゃう？

せたがや防災NPOアクション

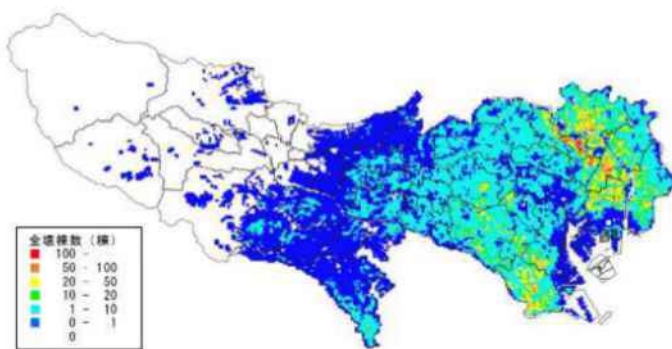


図 全壊棟数分布(都心南部直下地震)

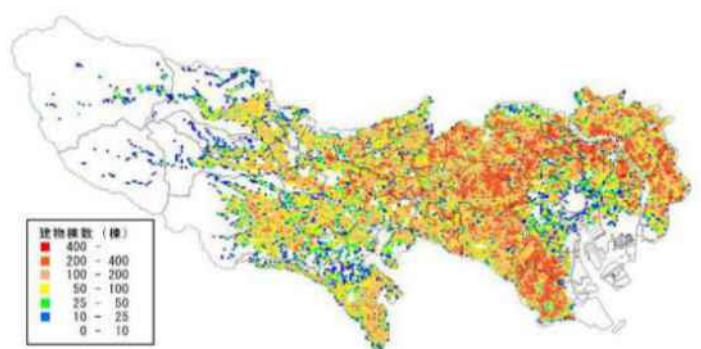


図 木造建物棟数分布

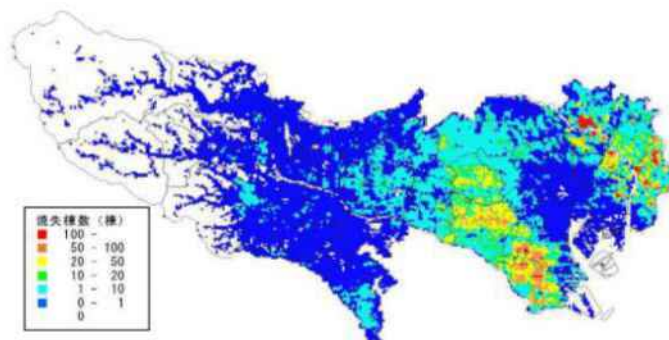


図 焼失棟数分布(都心南部直下地震、冬・夕方、風速8m/s)



図 配電設備被害による停電率(都心南部直下地震、冬・夕方、風速8m/s)



図 不通率(都心南部直下地震、冬・夕方、風速8m/s)



図 断水率(都心南部直下地震)



図 供給停止率(都心南部直下地震)

©2022 セタがや防災NPOアクション 無断転載禁止

## あなた自身の被害想定は？

せたがや防災NPOアクション

○地震が起きました。

あなたは何をしますか？自身の行動を5個あげてください。

○世田谷区の

- ◆全壊家屋  $6,464/189,303=3.4\%$
- ◆焼失家屋  $19,989/189,303=10.5\%$
- ◆死者  $645/943,664=0.068\%$
- ◆負傷、重傷者  $7,132/943,664=0.75\%$
- ◆避難者  $252,337/943,664=26.7\%$

正常化  
の偏見

- ◆停電率 10%～20%
- ◆固定電話不通率 10%～15%
- ◆断水率 20%～30%
- ◆ガス停止率 10%～20%
- ◆携帯電話不通率 20%～40%以上
- ◆下水破損率 5%～10%

# 身の回りで起こり得る災害シナリオと被害の様相①

※ 被害の様相は一つの想定として示したものであり、実際の災害時に、記録した被害の様相と必ずしも一致しないことに留意する

～首都直下地震が発生すると…（インフラ・ライフラインの復旧に向けた動き）～

想定条件 マグニチュード7.3/冬/15時/震速5m/s

| 被災者をとりまく様相                                                                                                                                                                                                          | 電力                                                              | 上水道                                       | 下水道                                                                        | ガス                                                                                                                | 通信                                                                                                                                                          | 鉄道                                                                                                                               | 道路                                                                                                                                                     |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>発災後当面の間は、ライフライン寸断等、被災生活に大きな支障</p> <p>▼液体化地域では、住宅の傾斜など、<b>継続的な居住や日常生活が困難化</b></p> <p>▼長周期地震動により<b>固定されていない本棚等が転倒</b>したり、家具、ピアノ、コピー機等が大きく移動し、人に衝突</p> <p>▼本や食器、窓ガラス等が飛散し、ストーブ等の火気器具が転倒</p> <p>▼停電で住宅のエレベーターが停止</p> | <p>▼広範囲に<b>停電が発生</b></p> <p>▼広い地域で計画停電が実施される可能性</p>             | <p>▼断水が発生</p>                             | <p>▼下水利用が制限</p> <p>▼排水管等の修理が終了するまで、集合住宅では、水道供給が再開してもトイレ利用が不可</p>           | <p>▼一般家庭で使用される低圧ガスは、<b>安全措置が作動し、広域的に供給が停止</b></p> <p>▼各家庭でも、震度5弱程度以上で自動遮断</p>                                     | <p>▼音声通信やパケット通信の利用に支障</p> <p>▼転倒により音声通話はつながりにくくなる</p> <p>▼メール、SNS等の<b>大幅な遅延等が発生</b></p> <p>▼携帯電話局電源の枯渇により<b>不通エリア拡大の可能性</b></p> <p>▼音声通信もパケット通信も利用困難が継続</p> | <p>▼点検や被災等で、都内のJR在来線、私鉄、地下鉄が<b>運行停止</b></p> <p>▼新幹線も運行停止し、都外からの来街者の多くが帰宅困難</p> <p>▼道路寸断や、交通規制、渋滞等により、<b>バス等の代替交通による移動も困難</b></p> | <p>▼高速道路及び主要一般道において、交通規制が実施され、<b>一般車両の通行が規制</b></p> <p>▼環状七号線の内側方向への流入禁止等の交通規制が実施</p> <p>▼ガソリンスタンドは当直給油不能が長蛇の列</p>                                     |
| <p>▼ライフライン停止等により、<b>空調やトイレ等が利用できない状態が継続</b></p> <p>▼品切れにより飲食物等生活必需品の確保が困難化</p>                                                                                                                                      | <p>▼徐々に停電が減少</p>                                                | <p>▼断水の復旧は限定的</p>                         | <p>▼部地域で下水利用が困難な状況が継続</p> <p>▼排水管等の修理が終了するまで、集合住宅では、水道供給が再開してもトイレ利用が不可</p> | <p>▼低圧ガス管路の安全点検や復旧作業が終了せず、一部の利用者への供給停止が継続</p>                                                                     | <p>▼順次、通信が回復</p> <p>▼通信設備の被害状況によっては、電話やインターネット等通信が長期間に渡り不通となる可能性</p>                                                                                        | <p>▼復旧完了区間から順次運行が再開するが<b>多くの区間で運行停止が継続</b></p> <p>▼橋脚などの大規模被害や線路閉塞、車両脱線等が発生した場合<b>復旧まで1か月以上の期間が必要となる可能性</b></p>                  | <p>▼高速道路や主要道路で交通規制が継続</p> <p>▼通行可能な道路において、鉄道等の運休継続で車両利用が増え、慢性的な渋滞が継続</p>                                                                               |
| <p>▼ライフラインの状況により空調やトイレ等の一部が利用できない状態が継続</p> <p>▼電力が復旧しても、保守業者による点検が終了するまでは、エレベーターが使用できないため、<b>復旧が長期化する可能性</b></p> <p>▼過剰な購買や買占めにより生活必需品の品薄状態が継続</p> <p>▼自宅の再建や修繕を望んでも、業者や職人等の確保が困難</p>                               | <p>▼発電所の停止など、電力供給量が不足し、電力需要が抑制されない場合などは、<b>計画停電が継続する可能性</b></p> | <p>▼断水・濁水は段階的に解消されるが、浄水施設等の被災による断水は継続</p> | <p>▼断水は概ね解消するが、浄水施設等が被災した場合、断水が長期化する可能性</p>                                | <p>▼安全点検の終了や管路の復旧により、建物倒壊や焼失など復旧困難エリアを除き、多くの地域で<b>利用制限解消</b></p> <p>▼排水管等の修理が終了するまで、集合住宅では、水道供給が再開してもトイレ利用が不可</p> |                                                                                                                                                             | <p>▼復旧完了区間から順次運行が再開するが<b>多くの区間で運行停止が継続</b></p> <p>▼橋脚などの大規模被害や線路閉塞、車両脱線等が発生した場合<b>復旧まで1か月以上の期間が必要となる可能性</b></p>                  | <p>▼高速道路や直轄国道等の主要路線は段階的に交通規制解除</p> <p>▼その他道路では段階的に閉塞や交通規制が継続する可能性</p> <p>▼土砂災害等により道路が寸断された場合<b>復旧までは数か月以上を要する可能性</b></p> <p>▼羽田空港等は、徐々に一般利用客の輸送を再開</p> |

◆ 発災後当面の間は、ライフラインや公共交通機関など、身の回りの生活環境に大きな支障が生じるとともに、被害が甚大な場合は、その復旧が長期化するおそれ

## 定量的・定性的被害想定読み解き

せたがや防災NPOアクション

- 耐震（耐震補強）は重要。
- 家具の転倒防止で怪我をしない。
- 出火防止と初期消火が重要。通電火災にも備える。
- 倒壊物、火災延焼による道路の閉塞の可能性に備える（避難経路の確認）。
- エレベーターの安全確認長期化、使用不可に備える。
- 電気：停電だけでなく避難生活時の計画停電に備える。
- 通信：停電に伴い、不通期間が長引く可能性に備える。
- ガス：家庭ガスの安全確認は時間がかかる。
- 水道：（浄水施設次第）断水は限定的だが、家屋内の水道管確認に時間がかかる。
- 下水道：排水管修理に時間がかかる。上水道が復旧してもトイレが使えない可能性大
- 物流：港湾施設、道路修復（渋滞）、鉄路修復の期間に比例して物資不足に備える。

○実は、昔から基本は在宅での避難生活だった！

○コロナ禍を逆手に取った避難所運営のススメとその準備

○首都直下地震被害想定を読み解く

○避難所から、被災者支援拠点に！

～過去の被災地での事例から、  
参考にできる取り組みはないだろうか～

©2022 せたがや防災NPOアクション 無断転載禁止

せたがや防災NPOアクション

～避難場所から被災者支援拠点へ～

【耐震化、不燃化の促進】 → 避難しなくていい街づくり  
→ 在宅避難によるストレスフリー

【特別なケアが必要な方】 → 避難所での集中対応が可能  
→ 次善の在宅避難者サポート

※在宅避難の課題は

・・・孤立、情報弱者、支援の偏り、見落とし、食、初期医療・治療の遅れ、肉体・精神的疲労．．．etc

## 過去の被災地の写真から

## 被災者支援拠点として

### 見えやすい困り事

- ・妊産婦、乳幼児・・・母子避難所の案内は？
- ・障害者、要介護者・・・福祉避難施設への移送は？人数は？
- ・持病のある方・・・診察可能な病院や処方薬の入手方法は？
- ・外国人・・・宗教上の課題は？相談窓口は？＝どこにつなぐ？

### 見えにくい困り事

- ・公的支援プログラム情報がわからない、罹災証明って？
- ・家の中の片づけは？
- ・子供を持つ世帯のどのくらいがアウェー育児か？
- ・食物アレルギー、アナフィラキシー既往症の方は？
- ・内疾患、精神疾患、普段は薬で対応できていた方は？
- ・装身具や介護器具等の不具合は？
- ・プライバシー保護、性犯罪防止、治安を守るためには？
- ・ジェンダーギャップやLGBT理解は？・・・etc

避難所・被災者支援拠点の運営にかかわる方々、外部支援を頼ってください。

「誰が、何に困っているか」という個人情報はいりません。

「どんなことに困っている人が、何人くらい、いつまでにどれだけ増え・減りそうか」というニーズ情報をください。

世田谷が被災したときの外部支援団体の窓口は  
**「せたがや防災NPOアクション」**が担います。

拠点は、世田谷線山下駅隣接の「たまでんカフェ山下」  
電話番号：03-5426-3737 FAX：03-5426-3738  
(平時はFAX 専用、発災時は電話回線としても使用)

世田谷地域

# 地域交流ラボ

令和4年11月19日

池尻まちづくりセンター

## 令和4年度 世田谷地域「地域交流ラボ」

### 中間報告（池尻・三宿地区×昭和女子大学）

#### アジェンダ

発表者：昭和女子大学 現代ビジネス研究所 2グループ

#### ① ファミリー避難所提案に向けて

防災講座チーム：羽鳥、石出、中村

#### ② 備蓄品提案に向けた活動報告

防災備品チーム：笠原、磯辺、葛西、國谷、佐藤

以上

世田谷区 防災 × 地域交流ラボ × +

← → ↻ 検索 世

**世田谷地域**

# 地域交流ラボ



世田谷地域に立地する大学で学ぶ学生が、**地域の特性や課題**について研究する。

調べる切り口は、

**防 災**...

それぞれの研究分野、興味・関心に沿ったテーマを決めて、

**地域でフィールドワーク**

地域の方々と**交流**、大学の仲間と**交流**、参加者同士も**交流**

世田谷区 防災 × 地域交流ラボ × +

← → ↻ 検索 世





# 中間報告: ファミリー避難所 提案に向けて

昭和女子大学 防災講座チーム  
羽鳥 愛未 石出 葵 中村 百花

## 活動の概要

目標: 防災講座を通して、ファミリー避難所の提案を行う

対象: 池尻・三宿・太子堂で 就学前の子どもを育てている 家庭の皆さん



## 進捗状況

- 太子堂・池尻/池尻・三宿地区合同ミーティング
  - ➡地域の防災課題についてヒアリング・意見交換
- 太子堂フィールドワーク
  - ➡町並みや地形を実際にみて防災課題を考察
- 池尻三町会合同防災訓練
  - ➡地域の防災行事への参加、運営についてヒアリング
- おでかけ広場三宿
  - ➡子育て家庭の防災意識や課題についてヒアリング

## 地域の現状

### 子育て家庭と社会の繋がり

- ・未就学児と社会の繋がり希薄
- ・社会と繋がっていない家庭多数
- ・住所や連絡先が分からない
- ・災害時安否が確認しにくい

平時から社会と家庭を繋げる

### ジェンダー

- ・女性の社会進出
- ・夫婦共働き化
- ・男女平等の理解が普及が不十分
- ・女性に役割が偏っている

男女平等に家庭防災を考える

### 母子避難所

- ・父子家庭はどうなるのか
- ・利用の対象者  
「原則、妊産婦・概ね1歳未満の乳児及びその保護者であって、自宅や指定避難所等での生活が困難な者とする。また、同居家族も可能な範囲で受け入れる。」  
(世田谷区避難行動要支援者避難支援プラン、令和4年)

ファミリー避難所の検討

## 今後の活動予定

防災と子どもに関する知識をさらに深める。

昭和女子大学内の子どもと防災に詳しい先生へのインタビュー

地域内の子育て支援施設での聞き取り調査

防災講座を多くの人に聞いてもらうための実施方法と場所の検討

- ・防災講座を開催し、子育て家庭の防災意識向上を促す
- ・ファミリー避難所の提案を行う



# 中間報告: 備蓄品提案に向けた 活動報告

昭和女子大学 防災備品チーム  
笠原彩音、磯辺美佑、葛西美結、國谷七海、佐藤朱理

## 概要

### 最終報告予定日

2023年2月11日(土)

### これまでの活動報告

- 7月27日 太子堂・池尻・三宿地区フィールドワーク
- 10月25日 太子堂一丁目町会堀内防火防災副部長宅訪問、太子堂一丁目町会備蓄品見学
- 10月26日 三宿中学校備蓄品見学
- 11月6日 池尻三宿町会合同避難訓練

## 活動目的

- 避難所に避難できる人数が限られている
- 区は在宅避難を推奨している



- 大学生の視点からの備蓄品提案
- 防災備蓄品の重要性を伝える
- さまざまな備蓄品について知ってもらうことで、備蓄品を楽しみながら用意するきっかけに

## 活動報告 - ①

### 「地域防災フィールドワーク」 (8月16日)

太子堂・池尻・三宿地区を実際に歩き、まちが防災とどう向き合っているかを学んだ。

思っていた以上に道が狭く、火事や地震の不安要素が多いと感じた。



## 活動報告 - ②

### 太子堂一丁目町会の備蓄倉庫見学 防火防災副部長のお宅訪問 (10月25日)

・防火防災副部長のお宅は、備蓄品の表を作成し、抜かりない備蓄品の準備をされていた。

→ 全世帯が同じ水準まで備蓄品を備えられている必要がある。



## 活動報告 - ③

### 「三宿中学校備蓄品見学」 (10月26日)

避難所の備蓄品だけでは全世帯分を賄うことが難しい。

区では在宅避難を呼びかけている→日頃から在宅避難に備えての備蓄が大切である。



## 活動報告 - ④

### 「池尻三宿町会合同避難訓練」 (11月6日)

訓練に参加し、町会や消防団の方から地域の現状を伺った。

夫婦共働き世帯や、大学生・会社員など、若い世代の町会への参加率が課題。

掲示板などを利用した情報共有にも工夫が必要。



池尻・三宿地区にて中間発表

まとめ・考察

昭和女子大学にて最終発表

2022年11月18日

2022年11月

2022年12月

2023年1月

2023年2月11日

学生を対象にインタビューの実施

太子堂地区防災塾にて発表

---

## 今後のステップ

### 1 実際に備蓄食品を食べてみる

- ・備蓄食品をランキング化する

### 2 学生にインタビューまたはアンケート実施

- ・備蓄食品を食べた感想
- ・備蓄をしているか、災害時に不安なことはなにか？
- ・災害時に必要な情報はどこで得るか など

### 最終目標：備蓄食品の提案

- ・町会向け・個人向けに備蓄食品の提案
  - ・学生はどんな備蓄品を用意しているのか
  - ・地域での情報共有の仕方についての提案 など
-

| 防災塾アンケート用紙（とりまとめ）                                                  |                  |          |                  |                                         |             |       |     |      |     |                                             |
|--------------------------------------------------------------------|------------------|----------|------------------|-----------------------------------------|-------------|-------|-----|------|-----|---------------------------------------------|
|                                                                    |                  |          |                  |                                         |             |       |     |      |     | <div>日 付 令和4年11月19日</div> <div>地 区 池尻</div> |
| 1-1) ご自身について（性別）                                                   |                  |          | 1-2) ご自身について（年齢） |                                         |             |       |     |      |     |                                             |
|                                                                    | ①男性              | ②女性      | 10代              | 20代                                     | 30代         | 40代   | 50代 | 60代  | 70代 | 80代以上                                       |
| 数                                                                  | 15               | 24       | 1                | 7                                       | 1           | 3     | 6   | 6    | 9   | 4                                           |
| 1-3) ご自身について（職業）                                                   |                  |          |                  |                                         |             |       |     |      |     |                                             |
|                                                                    | ①会社員             | ②公務員     | ③団体職員            | ④自営業                                    | ⑤パート・アルバイト  | ⑥専業主婦 | ⑦無職 | ⑧その他 |     |                                             |
| 数                                                                  | 5                | 1        | 3                | 4                                       | 4           | 5     | 7   | 8    |     |                                             |
| 2 今まで参加した防災塾の開催年度について                                              |                  |          |                  |                                         |             |       |     |      |     |                                             |
|                                                                    | ①令和元年度（平成31年度）以前 |          |                  | ②令和2年度                                  | ③令和3年度      |       |     |      |     |                                             |
| 数                                                                  | 13               |          |                  |                                         |             |       |     |      |     |                                             |
| 3 防災塾に参加して、地域防災について十分な意見交換や議論ができたと思いますか。                           |                  |          |                  |                                         |             |       |     |      |     |                                             |
|                                                                    | ①十分できている         | ②ややできている | ③どちらとも言えない       | ④あまりできていない                              | ⑤まったくできていない |       |     |      |     |                                             |
| 数                                                                  | 10               | 22       | 2                | 3                                       | 0           |       |     |      |     |                                             |
| 4 上記の「3」の理由をご自由にご記入ください。                                           |                  |          |                  |                                         |             |       |     |      |     |                                             |
| ① 実際に経験にもとづいた情報が聞けた。一人一人が意見を出し合い議論ができた。コロナ禍においての避難生活が詳しく知れた。       |                  |          |                  |                                         |             |       |     |      |     |                                             |
| 今までにない知識を沢山知ることができとてもよかった。在宅避難、避難の有り方について理解を深めることができた。             |                  |          |                  |                                         |             |       |     |      |     |                                             |
| 自分にはなかった視点や専門的な話が大変参考になった。                                         |                  |          |                  |                                         |             |       |     |      |     |                                             |
| ② 自分以外の視点から話が聞けた。参加されたメンバーの方は皆防災意識が高く、問題点や必要な課題をよく理解されていた。         |                  |          |                  |                                         |             |       |     |      |     |                                             |
| 地域が抱える問題について知ることができ、若い方の意見が聞けた。                                    |                  |          |                  |                                         |             |       |     |      |     |                                             |
| 自分だけは助かると思わず、最悪な事態を考えて備える必要がある。                                    |                  |          |                  |                                         |             |       |     |      |     |                                             |
| 貴重な話を聞くことができたが今まで自分が参加することがあまりできなかった。                              |                  |          |                  |                                         |             |       |     |      |     |                                             |
| 意見交換の議題をはっきり提示したら全員が発言できるのではないかと感じた。                               |                  |          |                  |                                         |             |       |     |      |     |                                             |
| もっと地域の意見を聞きたいと思った。実際に声を聞くのは違った発見があると感じた。                           |                  |          |                  |                                         |             |       |     |      |     |                                             |
| ③ 意見交換において話す人と話さない人がおり、もっと積極的に話ができるとより良い時間になると感じた。参加者に危機感を持たせるにはどう |                  |          |                  |                                         |             |       |     |      |     |                                             |
| ④ 参加する機会がなかったのので、これからは積極的に参加したい。時間が短い。                             |                  |          |                  |                                         |             |       |     |      |     |                                             |
| 5 防災塾に参加して学んだことや気づいたこと                                             |                  |          |                  |                                         |             |       |     |      |     |                                             |
|                                                                    |                  |          | 数                |                                         |             | 数     |     |      |     |                                             |
| ①自分の地域でどのような災害が起こりうるかわかった。                                         |                  |          | 17               | ⑤災害時の地域の課題が、地区住民の視点から具体化された。            |             |       |     | 18   |     |                                             |
| ②自分の地域でどの程度の被害が発生するかわかった。                                          |                  |          | 17               | ⑥地区のいろんな方のアイデアが集まって、自分たちでできる災害対策が講じられた。 |             |       |     | 10   |     |                                             |
| ③災害時に自らがとるべき避難行動を理解することができた。                                       |                  |          | 27               | ⑦参加した地域のいろんな方と関係性が作られた。                 |             |       |     | 12   |     |                                             |
| ④地域防災の考え方（住民の目線から課題と対策を検討する）を学ぶことができた。                             |                  |          | 27               |                                         |             |       |     |      |     |                                             |
| 6 今後の希望する「防災塾」の進め方について                                             |                  |          |                  |                                         |             |       |     |      |     |                                             |
|                                                                    |                  |          | 数                |                                         |             | 数     |     |      |     |                                             |
| ①今までと同じく、ワークショップ形式のグループで議論                                         |                  |          | 15               | ⑥行政の防災担当者により防災対策の実態に関する詳しい説明            |             |       |     | 13   |     |                                             |
| ②課題や対策のテーマ別に関わる関係者だけがそれぞれ集まって具体的に議論                                |                  |          | 5                | ⑦防災専門の先生や被災対応経験者を招いた防災の工夫や事例に関する防災講演    |             |       |     | 25   |     |                                             |
| ③よりコアな少数のメンバーが集まって地区全体の課題と対策をより具体的に議論                              |                  |          | 4                | ⑧地域の課題と対策について、いろんな地区住民から広く意見がもらえる会合     |             |       |     | 18   |     |                                             |
| ④防災まちあるきや安否確認訓練などの体を動かす体験                                          |                  |          | 18               | ⑨その他                                    |             |       |     | 1    |     |                                             |
| ⑤課題と対策のアイデアに関する他地区の防災活動の事例紹介                                       |                  |          | 18               | (在宅避難は何を用意するのか。若い方の意識訓練)                |             |       |     |      |     |                                             |

|                                                                            |            |              |            |                                         |              |            |
|----------------------------------------------------------------------------|------------|--------------|------------|-----------------------------------------|--------------|------------|
| 防災塾アンケート用紙（とりまとめ）                                                          |            |              |            |                                         |              |            |
|                                                                            |            |              |            |                                         | 日付           | 令和4年11月19日 |
|                                                                            |            |              |            |                                         | 地区           | 池尻         |
| 7 地区防災計画制度がつくられたが、本制度の内容はご存知ですか。                                           |            |              |            |                                         |              |            |
|                                                                            |            | 数            |            |                                         |              | 数          |
| ①地区防災計画作成のガイドラインを読んだことがある。                                                 |            | 9            |            | ④言葉は聞いたことがあるが詳しくは知らない。                  |              | 12         |
| ②他所の地区で作成された地区防災計画を読んだことがある。                                               |            | 2            |            | ⑤全く知らない。                                |              | 5          |
| ③防災塾で説明を聞いたことがあり、ある程度は知っている。                                               |            | 8            |            |                                         |              |            |
| 8 平成29年3月より、地区防災計画を区HPに掲載していますが、ご存知ですか。                                    |            |              |            |                                         |              |            |
|                                                                            | ①知っていた     | ②知らなかった      |            |                                         |              |            |
| 数                                                                          | 9          | 24           |            |                                         |              |            |
| 9 地区防災計画の今後の見直し・検証において、重点的に実施したいと思うこと                                      |            |              |            |                                         |              |            |
|                                                                            |            | 数            |            |                                         |              | 数          |
| ①地域の課題に対し、防災まちあるきを通じた危険箇所や地域資源の発見と整理                                       |            | 18           |            | ④検討した対策の実現に向け、地区全体の具体的なルールづくりや担当決め      |              | 18         |
| ②初期消火や要配慮者支援等の地域の課題別の防災マップ作成                                               |            | 13           |            | ⑤計画に記載している課題と対策に加え、より多くの住民視点からの課題と対策の追加 |              | 10         |
| ③検討した対策の実現に向け、協力関係者への声かけと対策方法に関する話し合い                                      |            | 15           |            | ⑥避難訓練、消火訓練等、災害時の対策が実現できるか体を動かした検証（実践）   |              | 21         |
| ＜その他＞災害用トイレの設置法、使用法、保管場所を知りたい。担架の作り方、怪我の手当の仕方。コロナ対応の避難所開設についての講演。防災マップの作成。 |            |              |            |                                         |              |            |
| 10 防災塾に継続して参加したいと思いますか。                                                    |            |              |            |                                         |              |            |
|                                                                            | ①継続して参加したい | ②都合がつけば参加したい | ③どちらとも言えない | ④あまり参加したくない                             | ⑤まったく参加したくない |            |
| 数                                                                          | 17         | 15           | 1          | 0                                       | 0            |            |
| 11 「防災塾」のご感想や「災害対策や地区防災計画」に関するご意見・ご要望など、自由にご記入ください。                        |            |              |            |                                         |              |            |
| ・ 参加されたメンバーから各地域に配布できる資料があれば本日の活動が周辺に波のように伝達できるのではないのでしょうか。                |            |              |            |                                         |              |            |
| ・ 町会役員の参加が多く、ご年配の方が多数だった。もっと若い住民の参加があったほうがよい。                              |            |              |            |                                         |              |            |
| ・ 様々な年齢層の防災の考え方を知れた。                                                       |            |              |            |                                         |              |            |
| ・ 生徒、児童だけの話し合いがあってもよいかと思う。                                                 |            |              |            |                                         |              |            |
| ・ 9③のような地域住民の状況理解を知っておく必要を感じる。                                             |            |              |            |                                         |              |            |
| ・ 体験された宮崎さんのお話が聞くことができ、また知ることができよかった。                                      |            |              |            |                                         |              |            |
| ・ 非常食の試食会があってもよかった。どんなものがよいか確認してみたい。甘味は日持ちのよい小口で真空パックされた羊かんがよいと思う。         |            |              |            |                                         |              |            |
| ・ 知らない視点をたくさん知れて大変ためになった。                                                  |            |              |            |                                         |              |            |
| ・ 始めて参加した。とても勉強になった。                                                       |            |              |            |                                         |              |            |
| ・ ありがとうございました。日々気をつけて頑張ります。                                                |            |              |            |                                         |              |            |
| ・ 大田区在住だが、世田谷区のようにNPOや市民団体はあるのだろうか。定期的に防災拠点会議と防災訓練を行っているが実際開設や運営は想像        |            |              |            |                                         |              |            |
| 今後は避難所開設も消防団並みの団体が必要ではないだろうか。                                              |            |              |            |                                         |              |            |

## 防災塾 実施報告書

世田谷総合支所地域振興課

太子堂 まちづくりセンター

- (1) 実施日 令和5年1月14日(土曜日) 午前9時30分～11時30分
- (2) 場所 三茶しゃれなあと スワン・ビーナス
- (3) 参加人数 48名(区民(在勤・在学含む)35名、スタッフ(講師含む)13名)
- (4) テーマ

i 在宅避難と避難所運営のあり方

- (5) 実施内容

### ①開会挨拶

- ・太子堂地区身近なまちづくり推進協議会会長 稲田 寛
- ・太子堂まちづくりセンター所長 廣瀬 丈裕

### ②講演

講師 世田谷防災 NPO アクション 代表 宮崎 猛志 氏

- ・避難方法の選択肢の確保の重要性(在宅・分散・避難所)
- ・避難所運営者の役割
- ・過去の被災地避難所の様子から学ぶこと
- ・在宅避難に必要な準備

### ③講評・閉会挨拶

- ・世田谷総合支所 地域振興課長 佐久間 聡

- (6) 成果物(写真、アンケート結果)

<写真>

### ①開会挨拶



## ②講演



## ③講評



| 防災塾アンケート 結果                                                                                                                                                |            |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|------------------|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----------|-----|-----|
|                                                                                                                                                            |            |                  |               | <table border="1"> <tr> <td>日 付</td> <td>令和5年1月14日</td> </tr> <tr> <td>地 区</td> <td>太子堂</td> </tr> </table> | 日 付 | 令和5年1月14日 | 地 区 | 太子堂 |
| 日 付                                                                                                                                                        | 令和5年1月14日  |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |
| 地 区                                                                                                                                                        | 太子堂        |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |
| 【テーマ】在宅避難と避難所運営のあり方                                                                                                                                        |            |                  |               | 参加人数:35名      アンケート回答人数:31名                                                                                 |     |           |     |     |
| <b>1 講演内容はいかがでしたか</b>                                                                                                                                      |            |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |
|                                                                                                                                                            | ①よかった      | ②まあまあだった         | ③よくわからなかった    | 回答なし                                                                                                        |     |           |     |     |
|                                                                                                                                                            | 30         | 0                | 0             | 1                                                                                                           |     |           |     |     |
| (理由)                                                                                                                                                       |            |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |
| ・実例が判りやすかった    ・避難所運営の現実的な問題点を指摘していただき、いろいろと確認できました。また在宅避難の具体的なお話を聞かせていただき、在宅避難の長所・方法を理解できました    ・伝えなければならない事が多くある中、わかりやすくまとめていただきました                      |            |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |
| ・在宅避難で気づいた点が多々あり参考になった    ・今後の避難所運営に大変参考となった    ・在宅避難の必要性が十分分かった                                                                                           |            |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |
| ・在宅避難の重要性の再認識    ・具体的な取り組みを聞くことができた    ・避難所運営のあり方    ・備蓄品に関する知見が得られた                                                                                       |            |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |
| ・現地の話などで参考になった    ・実際に活動中のNPOの方から実体験からの問題点の指摘を聞かせていただいた事                                                                                                   |            |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |
| ・在宅避難の実体が良く分かった    ・在宅避難の在り方について学ぶことができた    ・分りやすかった    ・在宅避難の重要性など認識を新たにしました                                                                              |            |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |
| ・避難所のマネージャーとしての立場の知識を得られるみとは重要だと感じたから    ・今後ともよろしくお願い致します    ・NPOの介入により避難所の運営がスムーズになる事が多かった事案は良    ・知らない件の話もありました    ・具体的内容がよくわかった (在宅避難)                  |            |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |
| <b>2 講演時間はいかがでしたか</b>                                                                                                                                      |            |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |
|                                                                                                                                                            | ①もっと聞きたかった | ②ちょうどよかった        | ③長かった         | 回答なし                                                                                                        |     |           |     |     |
|                                                                                                                                                            | 5          | 24               | 0             | 2                                                                                                           |     |           |     |     |
| <b>3 在宅避難の備えをしていましたか</b>                                                                                                                                   |            |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |
|                                                                                                                                                            | ①していた      | ②しようと思っていたがしていない | ③しようと思っていなかった | 回答なし                                                                                                        |     |           |     |     |
|                                                                                                                                                            | 23         | 7                | 0             | 1                                                                                                           |     |           |     |     |
| <b>4 在宅避難の備えをされている場合、その内容をお書きください。</b>                                                                                                                     |            |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |
| ・携帯トイレ    ・水2日分、缶詰め2日分    ・水、ある程度の食事、携帯トイレ、ペットのえさ、トイレットペーパー、ティッシュなどの日用品                                                                                    |            |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |
| ・水、携帯トイレ、携帯コンロ    ・一応3日分用意している(現金を含めてリュックに詰めている)    ・トイレ(2人分×10日間)、水(2ℓ×10本位)                                                                              |            |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |
| ・携帯トイレ50個、水60ℓ、缶詰め等食料品、卓上ガスコンロ他    ローリングストック実施している                                                                                                         |            |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |
| ・飲料水2か月分等    ・食料(長期保存のレトルト、缶詰め)、衛生用品    ・非常食(3人×3日分)、携帯トイレ5個、生活用水80ℓ他                                                                                      |            |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |
| ・食品のローリングストック、麺類、缶詰め、レトルトなど    ・NHKの防災備品は大体全て準備している                                                                                                        |            |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |
| ・水4ℓ×10、トイレ10枚、カンパン・缶詰め20個、タオル、バケツ    ・食料、カセットボンベ6本、トイレ用袋、脱臭剤、ポータブル発電機                                                                                     |            |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |
| ・水(2ℓ×9×10日分)、缶の食材(1缶×9×3日分)    ・水、お米    ・防災グッズセット(5人分×7日分)    ・水、食料、キャンプ用品                                                                                |            |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |
| ・携帯用トイレ(4人×2～3日)、水(4人×1週間)、食料(4人×2～3週間)    ・携帯トイレ(まだ少ない)、水×3日    ・カセットコンロ燃料12本、携帯トイレ24個、缶詰(魚缶詰め中心に多数)    ・飲料水、カンパン    ・一部のみしている    主にトイレ・食料等    ・簡易バックごはん1 |            |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |
| ・携帯トイレ、薬品、水、テント、防災用品等    ・水2ケース    ・これから備える                                                                                                                |            |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |
| <b>5 避難所運営を行う上で、心配なことはありますか</b>                                                                                                                            |            |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |
|                                                                                                                                                            | ①ある        | ②ない              | ③わからない        | 回答なし                                                                                                        |     |           |     |     |
|                                                                                                                                                            | 17         | 1                | 11            | 2                                                                                                           |     |           |     |     |
| <b>6 5で「ある」とお答えの方、具体的に心配と感じていることは何ですか</b>                                                                                                                  |            |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |
| ・地域の情報共有がもう少し公にされるとよいと思いました    ・コロナ禍で運営委員会が開催されず不安が大きい。                                                                                                    |            |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |
| ・参加が委員に限られているため、一般の人も参加できるようにしたい    ・当町会で運営に参加する人が少ない上、高齢者の方が多いので                                                                                          |            |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |
| 実際の場合はどうなのか心配です    ・従事者だけでないので振分けや情報伝達の方法など    ・座学では知識を得ても実際に体験する際、                                                                                        |            |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |
| 未知の事態が発生する    ・実際にうまくいくか不安である    ・三茶・太子堂ならではの課題(滞留者、商店街との連携)                                                                                               |            |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |
| ・在宅避難者への支援の取り組み    ・避難所と在宅避難の方々    ・購入したが使用していただくのをやれてなかった物もある                                                                                             |            |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |
| ・冬、夏エアコン無しは大変だと思った    ・密になりすぎる。プライバシー    ・協力者問題    ・開設する規準、運営に要する人員の確保                                                                                     |            |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |
| ・家が古いため                                                                                                                                                    |            |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |
| <b>7 今後どのような講演(防災関連で)を聞いてみたいですか</b>                                                                                                                        |            |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |
| ・自地区運営にかかわる団体、町会等を知りたい    ・住民の意識改革、担い手や参加者を増やす工夫    ・子どもたちの対応について                                                                                          |            |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |
| ・さらに活動を広めていただきたい    ・太子堂地区は震災時は火災が心配。類焼防止対策など    ・今迄通り色々とつづけてゆく                                                                                            |            |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |
| ・町会における自主防災の為にマニュアル作成の観点    ・毎年行われている講演会のもので良い    ・実例が多く判る                                                                                                 |            |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |
| ・地元以外で被災した場合の行動など    ・防災食の試食会    ・備蓄食について    ・いろいろな年代の人が参加できるように考えてほしい                                                                                     |            |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |
| ・避難所運営の具体例    ・子ども関連の講演を聞いてみたいです    ・シミュレーション    ・どんなことでも聞きたいです    ・防災訓練について                                                                               |            |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |
| <b>8 その他、ご意見などございましたらご記入ください</b>                                                                                                                           |            |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |
| ・備蓄品はそろえてあっても使い方などの確認を改めて感じました    ・今後もこのような活動を広く皆様に知ってもらいたいと思います                                                                                           |            |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |
| ・女子大の学生も真剣に取り組んでいるのが判った。頼もしい限りです    ・良かったです    ・大変参考になりました                                                                                                 |            |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |
| ・品物をそろえるだけではダメとは思っていますが今一度備蓄を点検したいと考えています                                                                                                                  |            |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |
| ・講演の仕方なのですが、マイクの音が小さく聞き取りづらく、発声にも工夫をお願い致します    ・ありがとうございました                                                                                                |            |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |
| ・電子回覧板になったらとなりの家の人の顔も付き合ひもわからなくなるのでは                                                                                                                       |            |                  |               |                                                                                                             |     |           |     |     |

## 防災塾 実施報告書

世田谷総合支所地域振興課

若林まちづくりセンター

(1) 実施日 令和4年4月15日(金曜日) 午前9時30分～正午

(2) 場所 若林まちづくりセンター 活動フロア

(3) 参加人数 23人

(4) テーマ

「地域防災の新たなステージ ～地域と福祉と防災と」

(5) 実施内容

①講演「地域防災力を高めるために～個別避難計画、福祉避難所を中心に～」

跡見学園女子大学教授 鍵屋 一 先生

②グループワーク

(1) 講師がグループワークの意義、進め方を説明。

(2) 事例を読み込みながら、教訓や気がかりな点をポストイットに記入する。

(3) 意見交換

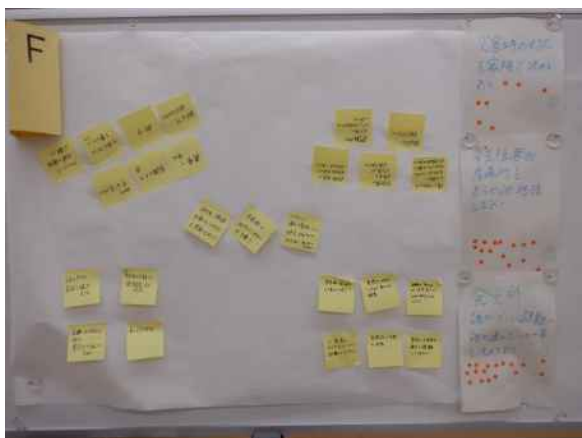
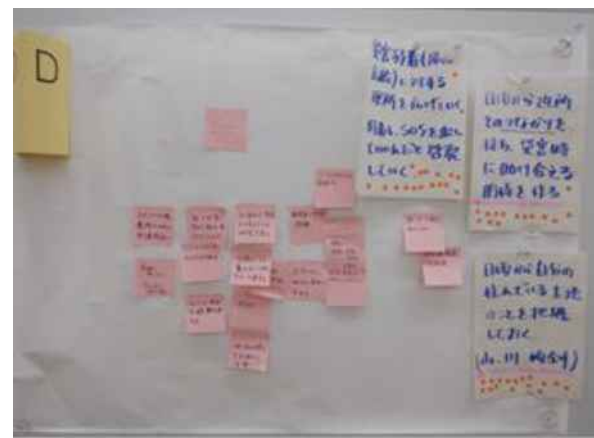
- ・ 自己紹介
- ・ ポストイットを模造紙に貼りながら気づいたことを話し合う。
- ・ 話し合いながら新たな「それいいね」というのをポストイットに書く。
- ・ 話し合いをしながらよいアイデアを3点～5点選び、A4用紙に書く。

(4) 共有の時間

- ・ 赤丸シールを持って、他のグループのアイデアで良いものにシールを張る。
- ・ ユニークなもの、赤丸の多かったものを講師が紹介する。

③まとめと講義、質疑

## (6) 成果物



## 地域防災力を高めるために ～個別避難計画、福祉避難所を中心に～

世田谷区若林まちづくりセンター 防災塾

2022年4月15日(金)

跡見学園女子大学観光コミュニティ学部

(一社)福祉防災コミュニティ協会代表理事

(令和元年台風第19号等を踏まえた高齢者等の  
避難に関するサブワーキンググループ座長)

鍵屋 一

祝！男鹿のナマハゲら来訪神  
ユネスコ 無形文化遺産！2018年11月29日



### ナマハゲは避難支援者！

■平時は五穀豊穡、家内安全を祈って家に入る来訪神

■災害時は、ナマハゲ台帳に基づいて避難支援

- 避難場所(神社)を日頃から使う
- 避難場所までの参道を整備
- 確実な避難方法(同行避難)

【福祉防災】 一社理事 鍵屋 一

### 個別避難計画は現代のナマハゲ台帳

■平時はコミュニティと福祉専門職による支援

■災害時は、個別避難計画(ナマハゲ台帳)に基づいて避難支援

- 避難場所(福祉施設、公民館等)を決定
- 避難場所までの安全な避難路を確認
- 確実な避難方法(車や徒歩で同行避難)

【福祉防災】 一社理事 鍵屋 一

### 新型コロナウイルス対策と社会経済活動

- 蔓延すると医療体制がひっ迫する  
→他の傷病者の治療も十分にできなくなる
- 致死率はそれほど高くない  
→ただし、高齢者、基礎疾患のある方は危険  
⇒変異ウィルスは危険性がより高くなっている
- 高齢者等が必要以上に、人や地域社会との交流を避けると、心身ともに弱くなる
- 移動を制限すると経済活動が停滞し、社会全体が委縮する  
⇒コロナ対策がすべてではなく、経済がすべてでもない。完全を求めず半分動かす、白黒がつかないストレスの多い状況が続く。

【福祉防災】 一社理事 鍵屋 一

### 命を守る防災のコツ

⇒早く逃げる

自分だけでは逃げられない人は？

※地震は家を強くし、家具を倒さない

【福祉防災】 一社理事 鍵屋 一

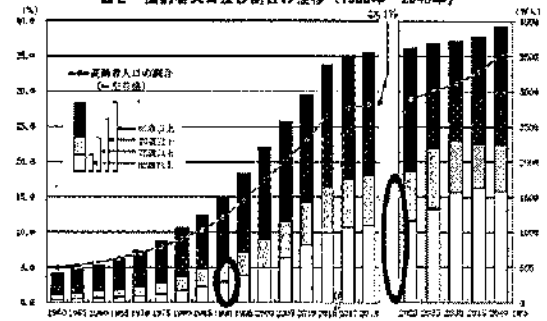
## 災害被害の方程式

自然の外力×人口(暴露量)  
×社会の脆弱性

【資料提供】 国土交通省国土政策局・防災政策課

## 進み続ける高齢化（出典：統計局HP） 75歳以上は25年で2.6倍！

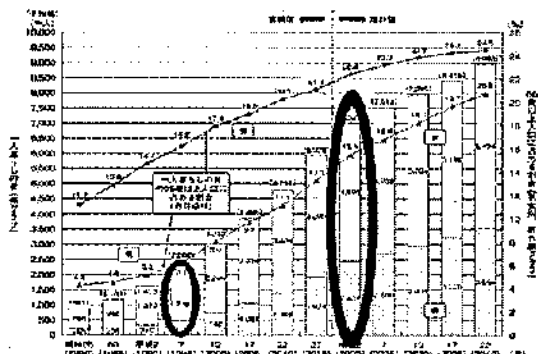
図2 高齢者人口及び割合の推移（1950年～2040年）



資料：1950年～2015年は「国勢調査」、2017年及び2018年は「人の統計」  
2025年以降は「日本の将来推計人口（平成29年版推計）」を元（中位）推計  
（厚生労働省・人口動態統計局）から作成  
注1：2017年及び2018年は3月1日現在、その他の年は10月1日現在  
注2：国勢調査に入らな人口及び割合は、平準手段をみだした結果  
注3：100歳までは推定値をささない

## 激増する高齢単身世帯！ 25年で3.2倍！

出典：令和元年国勢調査

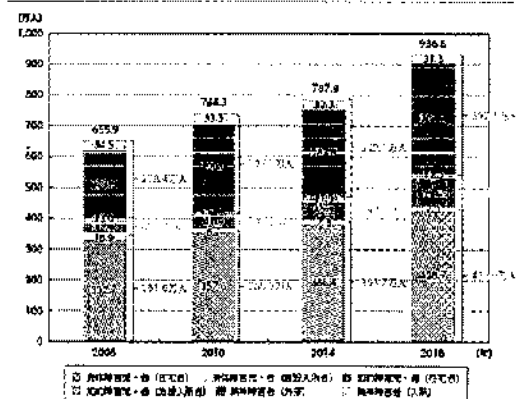


注：1995年～2018年は「国勢調査」、2018年は「人の統計」  
注2：2018年は「日本の将来推計人口（平成29年版推計）」を元（中位）推計  
（厚生労働省・人口動態統計局）から作成  
注3：100歳までは推定値をささない

## 障がい者は25年で約62.5%増

（下図は12年で43%増）出典：厚生労働省HP

図3 障がい者の推移



## 特定医療費（指定難病） 受給者証所持者数の変化 25年間で3.24倍！

1995年3月 291,856人  
2020年3月 946,110人

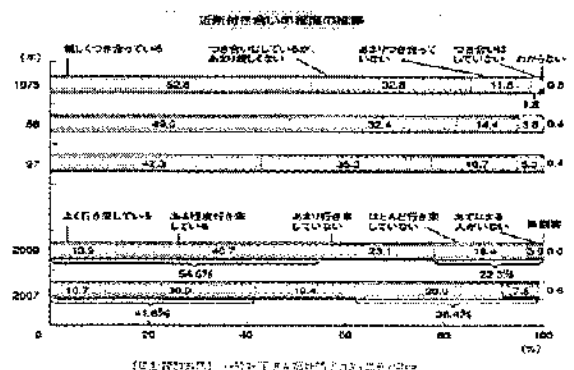
出典：難病情報センターHP

【資料提供】 厚生労働省難病対策推進課

## 近所づきあいは減っている！

出典：平成19年版国民生活白書

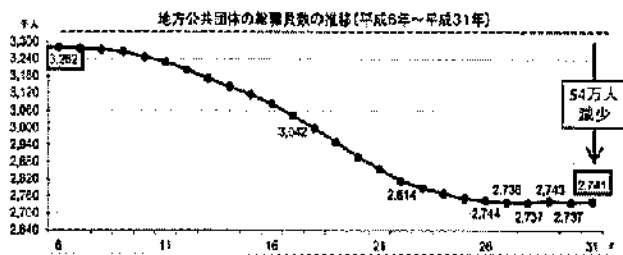
図4 近所づきあいは減っている



【資料提供】 厚生労働省難病対策推進課

## 公助にも限界が・・・ 自治体職員は25年で16.5%減！

出典：総務省HP



【東京の地震】 一般社団法人防災研究センター提供

## 2011年3月11日 東日本大震災

死者：19,674名

計：22,200名（以上）

行方不明：2,526名

（警察庁：2021.3）

避難者数：約4万名

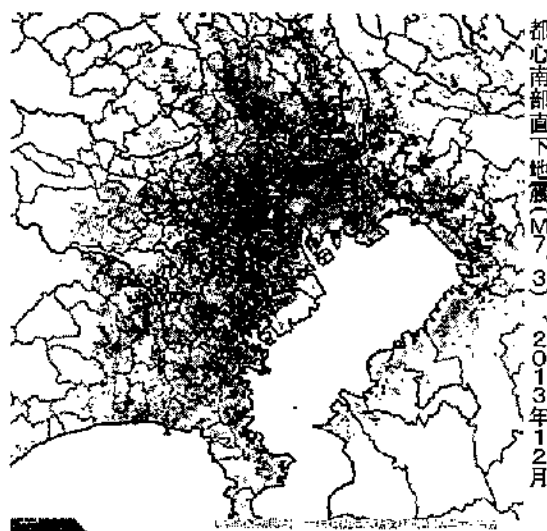
（復興庁2021.3）

震災関連死：3,775名・復興庁2021.3



14

【東京の地震】 一般社団法人防災研究センター提供



首都圏は火災が被害を拡大する！

## 大地震の発生確率（30年） 首都直下地震（M7級）70%！

出典：地震調査研究推進本部

### ◎30年確率

- ・火災で死傷する確率（2018年7,541名） **0.2%**  
（出典：火災統計を参考に鍵屋算出）
- ・交通事故で死亡する確率（2019年3,215名） **0.1%**
- ・交通事故で負傷する確率（2019年46万715名） **11%**  
（出典：警察庁WEBサイトを参考に鍵屋算出）

【東京の地震】 一般社団法人防災研究センター提供

16

○なぜ、人は備えないのか？

（逃げ遅れるのか？）

○なぜ、行政、福祉、企業等の災害対策の優先順位は低いのか？

17

【東京の地震】 一般社団法人防災研究センター提供

17

## 正常化の偏見

## 「自分は大丈夫！」

・自分にとって都合の悪い情報を無視したり、過小評価してしまう人間の特性

ex)逃げない非常ベル

…初着のリスク情報の無視

18

【東京の地震】 一般社団法人防災研究センター提供

18

## 組織は「非日常」が苦手

- ・「日常」業務に必要な職員を配置し、手続き、継続性、安定性、先例重視で、原則として特別な判断をしてはならない。  
⇒危機時は、臨機応変な対応が必要
- ・「日常」は予測可能性が高く、マニュアルで詳細に仕事の内容が決められる。  
⇒「非日常」は内容、程度、過程が多様で、マニュアル化にも限度がある。  
⇒職員は危機管理を敬遠しがち...

19

【東日本大震災】一宮市消防本部の危機管理センター

19

## 大地震発生直後、あなたは家族と家にいました。何をしますか？

- |    |     |
|----|-----|
| 1. | 6.  |
| 2. | 7.  |
| 3. | 8.  |
| 4. | 9.  |
| 5. | 10. |

20

【東日本大震災】一宮市消防本部の危機管理センター

## 誰が逃げろと伝えたか？

- ・第1位 101人 家族・同居者
- ・第2位 97人 近所、友人
- ・第3位 74人 福祉関係者
- ・第4位 30人 警察・消防(団を含む)

内閣府「避難に関する総合的対策の推進に関する実態調査結果報告書」(東日本大震災時、315人、複数回答あり)2013年

21

【東日本大震災】一宮市消防本部の危機管理センター

21

## 誰が逃げるのを支援したか？

- ・第1位 85人 家族・同居者
- ・第2位 60人 近所、友人
- ・第3位 53人 福祉関係者
- ・第4位 11人 消防・消防団

内閣府「避難に関する総合的対策の推進に関する実態調査結果報告書」(東日本大震災時、197人、複数回答あり)2013年

⇒近所・友人と福祉関係者の支援力が強い！

22

22

### 東日本大震災のケース

・3県で52か所が被災し、入居者・利用者485人、職員173人の計658人が犠牲になった。

### 【被災の全体状況 岩手・宮城・福島】

| 施設種別             | 全半壊 | 被災者(入居者) | 被災者(職員) |
|------------------|-----|----------|---------|
| 特別養護老人ホーム        | 11  | 211人     | 79人     |
| 養護老人ホーム          | 2   | 50人      | 24人     |
| 親睦老人ホーム(ケアハウスなど) | 5   | 23人      | 5人      |
| 介護老人保健施設         | 6   | 163人     | 57人     |
| 介護療養病床           | 1   | 0人       | 0人      |
| グループホーム          | 27  | 38人      | 9人      |

23

【東日本大震災】一宮市消防本部の危機管理センター

23

## 東日本大震災 死者の教訓

- 高齢者が約6割、障がい者死亡率は2倍
- ・体力がない、地域とのつながりが弱い

- 自治体職員288名 地方自治体災害対応基金2013年2月
- 消防団員254名 H24(2012年) 民生委員56名
- 高齢福祉施設職員173名 災害対応基金2013年4月
- ・守り手、支援者の危機管理能力が弱い

- 3,775名の震災関連死、2013年度1庁
- ・89%が66歳以上、移動や避難所で衰弱

24

【東日本大震災】一宮市消防本部の危機管理センター

## あと少しの支援があれば...

- ・在宅の障がい児者を高齢者が世話をしている家庭も多かった。残念なことに、高齢者の判断が遅れ、ともに逃げ遅れた事例がいくつもあった。
- ・自閉症の子どもがいることを近所の方が前から知っていたので、支援に駆け付け、一緒に避難して助かった
- ・多くの被災地を回った経験からは、残念なことに障がい者にとって地域の助け合いは重要だが、必ずしもうまく行われていないと思う

中村雅彦「あと少しの支援があれば 東日本大震災障がい者の被災と避難の記録」、ジヤース教育新社、2012年2月

【取材地：福島県】 一般利用者（障がい者）のインタビュー

25

## 東日本大震災時、障がい者の不安①

|      |    |       |                                                                        |
|------|----|-------|------------------------------------------------------------------------|
| 肢体障害 | 男性 | 40歳代  | 介護者が必要な障害者の支援、安否確認と情報提供、電源の確保（人口呼吸器、福祉機器、電動車いす等）                       |
| 肢体障害 | 女性 | 60歳代  | 車いすの場合、動き回らずじっとしていようと思う。トイレが一番心配。皆がパニックになっている場合、災害時要援護者名簿の登録をしても不安になる。 |
| 肢体障害 | 男性 | 60歳代  | 今回の震災の影響で計画停電があり、人口呼吸器ユーザーが大変な思いをした。各ユーザー宅や公共施設に自家発電装置を設置してほしい。        |
| 肢体障害 | 女性 | 70歳以上 | 車いすで入れるトイレがない。避難所に行っても段差があったり、トイレがない場所は居られないから避難しない。（一部割愛）             |

26

【取材地：福島県】 一般利用者（障がい者）のインタビュー

## 東日本大震災時、障がい者の不安②

|      |    |       |                                                                                                                                                                                                                            |
|------|----|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 肢体障害 | 女性 | 70歳以上 | 少しの段差でも困難な車いす生活者は、状況にもよるが、自宅にいるのが一番安全ではないかと思った。計画停電の折、早めにご飯を炊いてにきり飯を作っておくようにアドバイスしに訪ねてくれた人もあり、日頃の近所付き合いの大切さを実感した。吊り下げ型室内等は危ないので、天井に付く電灯に替えた。町内で防災訓練がよく行われるが、障害者側の視線は難しいと思う。話し合いの機会を多く希望する。                                 |
| 肢体障害 | 男性 | 70歳以上 | 介護事業所からの連絡は一切なし。町会、民生委員からも電話一本すら入らず。どのように選んで受給しているのか。（一部割愛）                                                                                                                                                                |
| 肢体障害 | 女性 | 19歳以下 | 当日外出していた母は特別支援学校と連絡が取れず、本人がどのような状態であるのかがわからなかった。日比谷から小岩まで徒歩で行き、夜9時に本人と会うことができた。学校や福祉施設はこのような場合の対応として、例えば震度5以上はお迎えなど、基本的な緊急時の対応方法はお互いに前もって確認することが必要と思う。又、歩いている途中、大渋滞の中、介護施設の車にお年寄りが乗っているのを多くみた。施設側が送り届けることに無理があるように思う。（母記入） |

27

【取材地：福島県】 一般利用者（障がい者）のインタビュー

## 東日本大震災時、障がい者の不安③

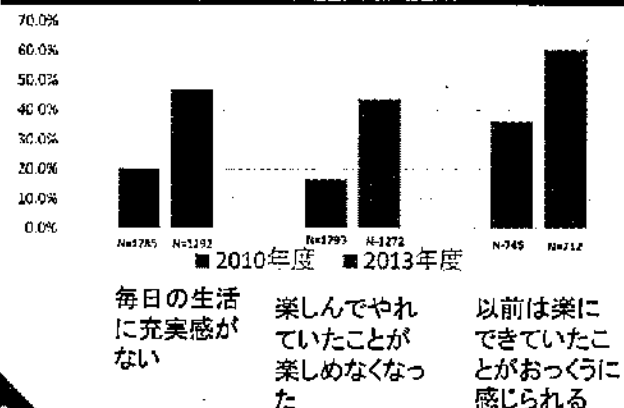
|      |    |       |                                                                                                                                                                   |
|------|----|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 視覚障害 | 男性 | 70歳以上 | 避難所では、紙のものを掲げられても読むことができないので、口頭による情報手段が必要。トイレの問題も重要。                                                                                                              |
| 内部障害 | 男性 | 70歳以上 | 震災で下水・水洗便所が不能となると、ストマ排便、洗浄、ストマ袋の交換等など考えるだけでも不安材料がいっぱいである。                                                                                                         |
| 知的障害 | 男性 | 20歳代  | 知的障害者は大声を出すことが多々あり、一般避難所は当然のこと、福祉避難所でも迷惑をかけることが多々あるので、なるべく自宅にいたいと思う。その場合、支援物資をどのようにしたら受けられるのか、知りたい。本人を連れて受取に出掛けたり、列に並んだりすることは不可能なので大変不安である。                       |
| 精神障害 | 男性 | 60歳代  | 個人情報保護法により、大震災の場合、被災状況を知ることが難しかったと聞く。行政と民間（NPO法人含む）が協力し合って、訪問活動ができることがシステム的にほしい。精神の障害は、疲れのコントロールが難しい人がいるので「心の相談コーナー」を設けてほしい。体は普通のため、猫の手も借りたい時にNOと言いたい。精神障害の理解が必要。 |

28

【取材地：福島県】 一般利用者（障がい者）のインタビュー

## うつ状態の要介護者が増える

福島県における要介護認定者の現状分析による必要な支援のあり方に関する調査研究事業報告書  
平成27年3月 国立大学法人 福島大学



29

【取材地：福島県】 一般利用者（障がい者）のインタビュー

## 在宅人工呼吸器利用者の場合

- 避難は一刻を争うが、準備に時間がかかる場合が多い
- ・避難時に持っていくもの
- ・避難先、避難路、避難支援者、避難方法・・・
- ⇒個別避難計画の作成で利用者も支援者も助かる

30

## 在宅人工呼吸器利用者の場合

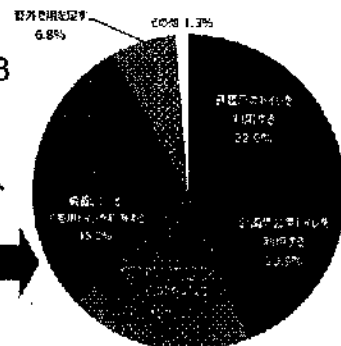
- バッテリー6時間をまず確保
- 4時間以内に次のバッテリーを確保し、それを継続する
- ・電源を確保できる避難先の確保→病院、福祉避難所、で電動車両、給電器、蓄電池
- ⇒個別避難計画の作成で事前に準備しておく

31

## 東京・大阪の備えは？

大地震におけるトイレの備えに関する調査結果 2015年3月30日(金)～4月2日(月)  
サンプル数2000 特定非営利活動法人 日本トイレ研究所

自助＝ココを3  
倍に増やす！  
共助＝友人、  
近所を家族分  
支える！



## 2016年4月14日、16日熊本地震 最大震度7

益城町建物被害 全半壊8,259棟、一部損壊4,325棟、無被害156棟

死者:273名(災害関連死:223名)(熊本県.2021.4.13)

最大避難者:183,882名



【熊本市東区】一軒家住宅が倒壊し、道路が埋められた様子

33

33



## 多数の車中泊 保健福祉センター

H28:4:20 跡見学園女子大学 鍵屋撮影

【熊本市東区】一軒家住宅が倒壊し、道路が埋められた様子

34

34

## 熊本地震震災関連死 死亡時の生活環境区分

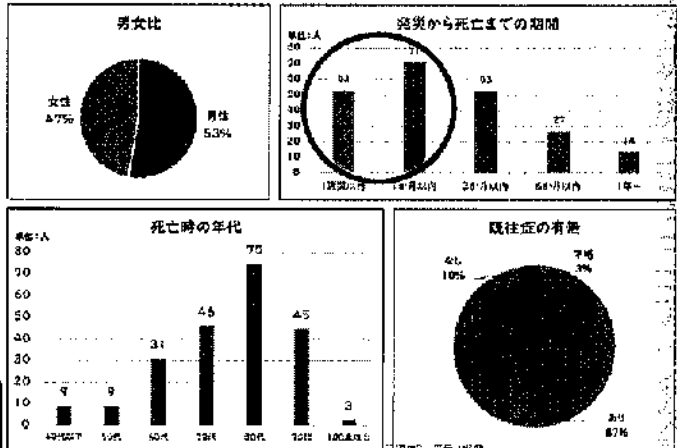
出典:熊本地震の発災4か月以降の復旧・復興の取り組みに関する検証報告書

| 生活環境                          | 人数  | 割合    |
|-------------------------------|-----|-------|
| 発災時にいた場所及びその周辺                | 12  | 5.5%  |
| 避難所等への移動中                     | 0   | 0.0%  |
| 避難所滞在中                        | 10  | 4.6%  |
| 仮設住宅滞在中                       | 1   | 0.5%  |
| 民間賃貸住宅・公営住宅等滞在中               | 0   | 0.0%  |
| 親戚や知人の家に滞在中                   | 8   | 3.7%  |
| 発災前と同じ居場所に滞在中の場合【自宅等】         | 81  | 37.2% |
| 発災前と同じ居場所に滞在中の場合【病院】          | 27  | 12.4% |
| 発災前と同じ居場所に滞在中の場合【介護施設】        | 17  | 7.8%  |
| 入院又は入所後1か月以上経過し亡くなった場合【病院】    | 58  | 26.6% |
| 入院又は入所後1か月以上経過しなくなった場合【介護施設等】 | 3   | 1.4%  |
| その他・不明                        | 1   | 0.5%  |
| 合計                            | 218 |       |

## 熊本地震での震災関連死内訳

令和3年3月末時点218件(更新)

出典:熊本地震の発災4か月以降の復旧・復興の取り組みに関する検証報告書、R3.4.9報道発表



「東日本大震災における震災関連死に関する原因等(基礎的数値)」

|                         | 岩手県<br>および<br>宮城県 | 福島県   | 合計    |
|-------------------------|-------------------|-------|-------|
| 病院の機能停止による初期治療の遅れ       | 39                | 51    | 90    |
| 病院の機能停止(転院を含む)による既往症の増悪 | 97                | 186   | 283   |
| 交通事情等による初期治療の遅れ         | 13                | 4     | 17    |
| 避難所等への移動中の肉体・精神的疲労      | 21                | 380   | 401   |
| 避難所等における生活の肉体・精神的疲労     | 205               | 433   | 638   |
| 地震・津波のストレスによる肉体・精神的負担   | 112               | 38    | 150   |
| 原発事故のストレスによる肉体・精神的負担    | 1                 | 33    | 34    |
| 救助・救護活動等の業務             | 1                 |       | 1     |
| 多量の震災の吸引                |                   |       | 0     |
| その他                     | 110               | 105   | 215   |
| 不明                      | 65                | 56    | 121   |
| 合計                      | 664               | 1,286 | 1,950 |

【解】(1) 由题设知  $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{a_n}{b_n} = \frac{1}{2}$ , 故  $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{a_n}{b_n} = \frac{1}{2}$ .

災害関連死の状況 出典：NHK他 2021年8月時点

| 災害発生日時       | 災害名            | 直接死者数  | 間接死者数 | 行方不明  | 合計     | 間接死割合 |
|--------------|----------------|--------|-------|-------|--------|-------|
| 1999年1月13日   | 阪神・淡路大震災（兵庫県内） | 5,483  | 921   | 3     | 6,407  | 14.3% |
| 2004年10月23日  | 新潟県中越地震        | 16     | 52    | 0     | 68     | 76.5% |
| 2011年3月11日   | 東日本大震災         | 15,900 | 3,775 | 2,525 | 22,200 | 17.0% |
| 2016年4月14日   | 熊本地震           | 50     | 218   | 0     | 268    | 81.3% |
| 2018年7月6日～   | 西日本豪雨災害        | 222    | 74    | 8     | 304    | 24.3% |
| 2019年10月31日～ | 東日本台風災害        | 84     | 21    | 3     | 108    | 19.4% |

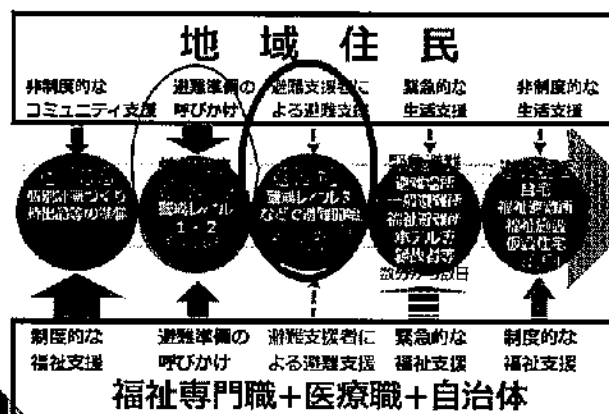
... ..

2021年は福祉防災元年！

- 「避難準備・高齢者等避難情報」  
⇒「高齢者等避難」
- 個別避難計画作成を市区町村の努力義務化
- 介護福祉事業所、障害福祉サービス事業所に3年以内にBCP作成を義務付け
- 福祉避難所ガイドライン改定
- 浸水被害の危険がある地区の開発規制等の流域治水関連法

[illegible]

## 地域住民の善意に頼る避難支援



**Fig. 1** **Fig. 2** **Fig. 3** **Fig. 4** **Fig. 5** **Fig. 6** **Fig. 7** **Fig. 8** **Fig. 9** **Fig. 10** **Fig. 11** **Fig. 12** **Fig. 13** **Fig. 14** **Fig. 15** **Fig. 16** **Fig. 17** **Fig. 18** **Fig. 19** **Fig. 20** **Fig. 21** **Fig. 22** **Fig. 23** **Fig. 24** **Fig. 25** **Fig. 26** **Fig. 27** **Fig. 28** **Fig. 29** **Fig. 30** **Fig. 31** **Fig. 32** **Fig. 33** **Fig. 34** **Fig. 35** **Fig. 36** **Fig. 37** **Fig. 38** **Fig. 39** **Fig. 40** **Fig. 41** **Fig. 42** **Fig. 43** **Fig. 44** **Fig. 45** **Fig. 46** **Fig. 47** **Fig. 48** **Fig. 49** **Fig. 50** **Fig. 51** **Fig. 52** **Fig. 53** **Fig. 54** **Fig. 55** **Fig. 56** **Fig. 57** **Fig. 58** **Fig. 59** **Fig. 60** **Fig. 61** **Fig. 62** **Fig. 63** **Fig. 64** **Fig. 65** **Fig. 66** **Fig. 67** **Fig. 68** **Fig. 69** **Fig. 70** **Fig. 71** **Fig. 72** **Fig. 73** **Fig. 74** **Fig. 75** **Fig. 76** **Fig. 77** **Fig. 78** **Fig. 79** **Fig. 80** **Fig. 81** **Fig. 82** **Fig. 83** **Fig. 84** **Fig. 85** **Fig. 86** **Fig. 87** **Fig. 88** **Fig. 89** **Fig. 90** **Fig. 91** **Fig. 92** **Fig. 93** **Fig. 94** **Fig. 95** **Fig. 96** **Fig. 97** **Fig. 98** **Fig. 99** **Fig. 100** **Fig. 101** **Fig. 102** **Fig. 103** **Fig. 104** **Fig. 105** **Fig. 106** **Fig. 107** **Fig. 108** **Fig. 109** **Fig. 110** **Fig. 111** **Fig. 112** **Fig. 113** **Fig. 114** **Fig. 115** **Fig. 116** **Fig. 117** **Fig. 118** **Fig. 119** **Fig. 120** **Fig. 121** **Fig. 122** **Fig. 123** **Fig. 124** **Fig. 125** **Fig. 126** **Fig. 127** **Fig. 128** **Fig. 129** **Fig. 130** **Fig. 131** **Fig. 132** **Fig. 133** **Fig. 134** **Fig. 135** **Fig. 136** **Fig. 137** **Fig. 138** **Fig. 139** **Fig. 140** **Fig. 141** **Fig. 142** **Fig. 143** **Fig. 144** **Fig. 145** **Fig. 146** **Fig. 147** **Fig. 148** **Fig. 149** **Fig. 150** **Fig. 151** **Fig. 152** **Fig. 153** **Fig. 154** **Fig. 155** **Fig. 156** **Fig. 157** **Fig. 158** **Fig. 159** **Fig. 160** **Fig. 161** **Fig. 162** **Fig. 163** **Fig. 164** **Fig. 165** **Fig. 166** **Fig. 167** **Fig. 168** **Fig. 169** **Fig. 170** **Fig. 171** **Fig. 172** **Fig. 173** **Fig. 174** **Fig. 175** **Fig. 176** **Fig. 177** **Fig. 178** **Fig. 179** **Fig. 180** **Fig. 181** **Fig. 182** **Fig. 183** **Fig. 184** **Fig. 185** **Fig. 186** **Fig. 187** **Fig. 188** **Fig. 189** **Fig. 190** **Fig. 191** **Fig. 192** **Fig. 193** **Fig. 194** **Fig. 195** **Fig. 196** **Fig. 197** **Fig. 198** **Fig. 199** **Fig. 200** **Fig. 201** **Fig. 202** **Fig. 203** **Fig. 204** **Fig. 205** **Fig. 206** **Fig. 207** **Fig. 208** **Fig. 209** **Fig. 210** **Fig. 211** **Fig. 212** **Fig. 213** **Fig. 214** **Fig. 215** **Fig. 216** **Fig. 217** **Fig. 218** **Fig. 219** **Fig. 220** **Fig. 221** **Fig. 222** **Fig. 223** **Fig. 224** **Fig. 225** **Fig. 226** **Fig. 227** **Fig. 228** **Fig. 229** **Fig. 230** **Fig. 231** **Fig. 232** **Fig. 233** **Fig. 234** **Fig. 235** **Fig. 236** **Fig. 237** **Fig. 238** **Fig. 239** **Fig. 240** **Fig. 241** **Fig. 242** **Fig. 243** **Fig. 244** **Fig. 245** **Fig. 246** **Fig. 247** **Fig. 248** **Fig. 249** **Fig. 250** **Fig. 251** **Fig. 252** **Fig. 253** **Fig. 254** **Fig. 255** **Fig. 256** **Fig. 257** **Fig. 258** **Fig. 259** **Fig. 260** **Fig. 261** **Fig. 262** **Fig. 263** **Fig. 264** **Fig. 265** **Fig. 266** **Fig. 267** **Fig. 268** **Fig. 269** **Fig. 270** **Fig. 271** **Fig. 272** **Fig. 273** **Fig. 274** **Fig. 275** **Fig. 276** **Fig. 277** **Fig. 278** **Fig. 279** **Fig. 280** **Fig. 281** **Fig. 282** **Fig. 283** **Fig. 284** **Fig. 285** **Fig. 286** **Fig. 287** **Fig. 288** **Fig. 289** **Fig. 290** **Fig. 291** **Fig. 292** **Fig. 293** **Fig. 294** **Fig. 295** **Fig. 296** **Fig. 297** **Fig. 298** **Fig. 299** **Fig. 300** **Fig. 301** **Fig. 302** **Fig. 303** **Fig. 304** **Fig. 305** **Fig. 306** **Fig. 307** **Fig. 308** **Fig. 309** **Fig. 310** **Fig. 311** **Fig. 312** **Fig. 313** **Fig. 314** **Fig. 315** **Fig. 316** **Fig. 317** **Fig. 318** **Fig. 319** **Fig. 320** **Fig. 321** **Fig. 322** **Fig. 323** **Fig. 324** **Fig. 325** **Fig. 326** **Fig. 327** **Fig. 328** **Fig. 329** **Fig. 330** **Fig. 331** **Fig. 332** **Fig. 333** **Fig. 334** **Fig. 335** **Fig. 336** **Fig. 337** **Fig. 338** **Fig. 339** **Fig. 340** **Fig. 341** **Fig. 342** **Fig. 343** **Fig. 344** **Fig. 345** **Fig. 346** **Fig. 347** **Fig. 348** **Fig. 349** **Fig. 350**

令和元年台風第19号等を踏まえた高齢者等の避難の在り方について  
中間とりまとめ（2020年10月28日公表）  
**個別計画の重要ポイント**

- （個別計画の策定に係る体制）  
○介護支援専門員や相談支援専門員は、避難行動要支援者のうち介護保険サービス等の利用者について、日頃からケアプラン等の作成を通じて、避難行動要支援者本人の状況等をよく把握しており、信頼関係も期待できることから、個別計画策定の業務に、福祉専門職の参画を得ることが極めて重要であり、その手法について最終取りまとめに向けて検討する必要がある。

⇒在宅介護事業所のBCPにも必要！

（作者单位：中国地质大学（北京）地质研究所）

## 災害時の避難関連計画（鍵屋作成）

凡例：青字は2020年度までに義務付け  
○は任意の計画

|              | 施設入所者           | 在宅                 |                    |          |
|--------------|-----------------|--------------------|--------------------|----------|
|              | 福祉施設、グループホーム入所者 | 避難行動要支援者（福祉有り）     | 避難行動要支援者（福祉無し）     | その他      |
| 避難呼びかけ       | 非常災害対策計画、避難確保計画 | （地区防災計画）<br>（個別計画） | （地区防災計画）<br>（個別計画） | （地区防災計画） |
| 避難確認         |                 |                    |                    |          |
| 避難誘導<br>同行避難 |                 |                    |                    |          |
| 災 害 発 生 !    |                 |                    |                    |          |
| 安否確認         |                 | （福祉避難所）            | （福祉避難所）            |          |
| 避難生活支援       |                 |                    |                    |          |
| 復旧復興         |                 |                    |                    |          |

For the purpose of this study, we used the following data:

## 災害時の避難関連計画（鍵屋作成）

凡例：赤字は2021年度から義務付け  
青字は2020年度までに義務付け、○は任意

|        | 施設入所者           | 在宅             | 在宅             | 在宅       |
|--------|-----------------|----------------|----------------|----------|
|        | 福祉施設、グループホーム入所者 | 避難行動要支援者（福祉有り） | 避難行動要支援者（福祉無し） | その他      |
| 避難呼びかけ | 非常災害対策計画、避難確保計画 | （地区防災計画）       | （地区防災計画）       | （地区防災計画） |
| 避難確認   | 福祉BCP           | 福祉BCP          | 個別避難計画         |          |
| 避難誘導   |                 |                |                |          |
| 同行避難   |                 |                |                |          |
| 災害発生！  |                 |                |                |          |
| 安否確認   | 福祉BCP           | （福祉避難所）        | （福祉避難所）        |          |
| 避難生活支援 |                 | 福祉BCP          |                |          |
| 復旧復興   | 福祉BCP           |                |                |          |

43

【熊本地震時】 熊本地震時、避難所として活用された福祉施設

## 避難行動要支援者の 避難行動支援に関する取組指針

平成25年8月（令和3年5月改定）内閣府（防災担当）

○令和3年の改正災対法においては、個別避難計画の作成について市町村の努力義務という形で規定された。

⇒要支援者だけでなく支援者の命も守る

○優先度が高いと市町村が判断した者について、地域の実情を踏まえながら、改正法施行後からおおむね5年程度で取り組んでいただきたい。

44

【熊本地震時】 熊本地震時、避難所として活用された福祉施設

## 在宅の高齢者等支援が重要！

在宅の高齢者・基礎疾患者等の早急な見守り、体調管理、保健・医療・福祉・生活支援が重要  
（地域の見守り体制、在宅介護・障がい事業所のBCP、保健医療調整本部、支え合いセンター）

※体調が悪ければ福祉避難所へ！

※コロナ禍においては特に重要！

45

## 多くの住民が避難する避難スペース →BCPで半日でこの状態にする



写真：熊本地震時の避難所となった福祉施設  
熊本県益城町特別養護老人ホーム いこいの里提供  
【熊本地震時】 熊本地震時、避難所として活用された福祉施設

46

## 高齢者を支える福祉避難スペース →BCPで半日でこの状態にする



写真：熊本地震時の避難所となった福祉施設  
熊本県益城町特別養護老人ホーム いこいの里提供  
【熊本地震時】 熊本地震時、避難所として活用された福祉施設

47

## 計画づくり・マニュアルづくりと、 対話による人づくり！

■災害時に最適な判断、行動ができる人間力  
⇒サリン事件時の聖路加病院

■備蓄、連絡網、地域・行政連携など  
事前の備え

48

【熊本地震時】 熊本地震時、避難所として活用された福祉施設

## (旧) 福祉避難所ガイドライン (2016年4月)

- 市町村は、災害が発生し又は発生のおそれがある場合で、一般の避難所に避難してきた者で福祉避難所の対象となる者がおり、福祉避難所の開設が必要と判断する場合は、福祉避難所の施設管理者に開設を要請する。併せて、地域における福祉避難スペース（室）を開設する。

49

## 問題の多い運用（1）

- 福祉避難所は二次避難所なので、災害発生して数日後に開設するものである  
⇒一般の避難所に行けない人（認知症高齢者、知的・精神障がい児者、乳幼児等）はどうすれば？
- 避難所において、具合が悪くなった人を移送するものである  
⇒そもそも避難所で具合を悪くしてはいけない。移送は多大な調整、労力、時間を要する。

50

## 問題の多い運用（2）

- 直接福祉避難所に行ってはいけない  
⇒なぜ、高齢者、障がい者等がわざわざ遠い避難所に行かなければならないの？
- 健常な被災者もいると、福祉避難所にはできない  
⇒避難所運営はかえって大変なのに、どうして？
- 福祉避難所は、福祉施設が開設する  
⇒市町村の福祉センターなどはだめ？

51

## 水害時の福祉避難所立上げ事例

令和元年東日本台風（台風19号）  
長野県佐久穂町の対応（ケアマネ、保健師の情報活用）

- 第二次警戒発令で、福祉避難所開設準備
  - ・災害発生情報前に受け入れ準備完了

- 目からの搬送依頼

- ・災害発生地域内の要支援者（利用者）の事情を知っていた
- ・移動手段のない当事者を車で搬送

- デイサービスフロアで福祉避難

- ・25床(DS)と入所の空きベッド11床を確保



- 一般避難所からの受入れ

- ・調整する指定避難所からの障がい者、高齢者の受入れ

| 日時     |       | 佐久穂町の対応                   |
|--------|-------|---------------------------|
| 10月12日 | 7:40  | 風水害警報(長野全県) 大雨警報(佐久地域)    |
|        | 8:00  | 第二次警戒発令、福祉避難所開設指示         |
|        | 8:03  | 洪水警報(佐久地域)                |
|        | 8:20  | 災害発生情報                    |
|        | 8:40  | 避難所開設の決定、洪水避難所へ既出の移送      |
|        | 10:00 | 助産所・診療所・避難所開設を依頼          |
|        | 10:05 | 土砂災害警戒区域                  |
|        | 10:51 | 避難所開設完了: 入居地域(26:世帯、661人) |
|        | 14:30 | 避難所開設完了: 入居地域(26:世帯、661人) |
|        | 15:00 | 災害発生情報                    |
| 10月13日 | 15:10 | 洪水警報(佐久地域) 大雨警報(佐久地域)     |
|        | 15:20 | 洪水警報(佐久地域) 大雨警報(佐久地域)     |
|        | 15:30 | 洪水警報(佐久地域) 大雨警報(佐久地域)     |
|        | 15:41 | 洪水警報(佐久地域) 大雨警報(佐久地域)     |

出典: 長野県災害対策本部資料等より抜粋

52

## (新) 福祉避難所ガイドライン (2021年5月)

- 市町村は、災害が発生し又は発生のおそれがある場合（災害時）で、高齢者等避難が発令された場合などには、指定福祉避難所を開設する。
- また、市町村は、災害が発生し又は発生のおそれがある場合で、一般の避難所に避難してきた者で福祉避難所の対象となる者がおり、福祉避難所の開設が必要と判断する場合は、福祉避難所の施設管理者に開設を要請する。

53

## 福祉避難所の新たな方向性

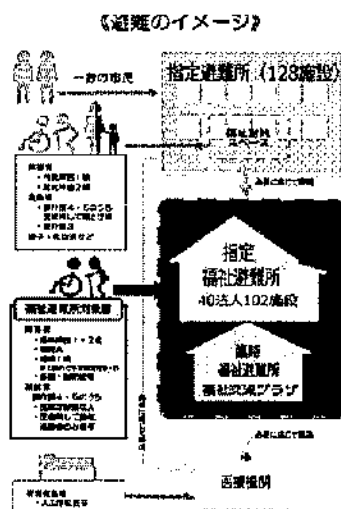
（高齢者等の避難支援に関するサブワーキンググループ報告書（2020.12.24））

- 高齢者・障害児者等の個別避難計画で、福祉避難所施設との事前マッチングを行う。
- 福祉避難所はマッチングのできた者について、直接避難を受入れるとともに避難生活の場とする。
- 福祉避難所の負担軽減のため、受入れ者を限定した公示を行う。（例）〇〇特別養護老人ホーム（高齢者限定）、〇〇特別支援学校（障害児限定）

## 誰もが利用できる一般避難所

高齢者等の避難支援に関するサブワーキンググループ報告書（2020.12.24）

- （中略）様々な避難者の相談窓口や支援を必要とする人のための福祉避難所的な機能を備えたゾーンやスペースを確保する等の措置も必要
- 感染症対策や熱中症対策などの保健、医療的な対応（中略）とともに、視覚や聴覚機能等に障害がある人への情報保障やピア・サポートの観点（中略）福祉的な面での質の確保も図る必要がある。
- 要配慮者やその家族には、避難先の希望や医療機器の使用など様々な事情があることから、そのニーズに応じた支援を行うことができる施設やスペース等の確保に努めることが求められる。



## 新潟県上越市の事例

高齢者等の避難支援に関するサブワーキンググループ報告書（2020.12.24）

- あらかじめ市の聞き取り調査を終えて、避難する福祉避難所が指定されている人は、自宅から直接避難
- 福祉避難所が指定されていない人は、まずは近くの指定避難所内の福祉避難スペースを利用

### 災害イメージづくりのプロセス

1. 災害に学ぶ(暗黙知)  
⇒災害エスノグラフィ
2. 5～10程度の知恵、教訓の抽出(形式知)
3. ワールドカフェで話し合っ、知恵、教訓を共有

## ワールドカフェのお作法

- ・対話を楽しみましょう(^o^)
- ・互いの話を聴きあって、広げましょう！  
⇒否定しない！
- ・感じたことを大切に、アイデアや思いついたことを、ポストイットに自由に書きましょう！

## ワールドカフェのテーマ

大災害時に、高齢者、障がい者、乳幼児等を守るために、何をすべきか？（平時と災害時）



## 価値向上型防災の概念



◎価値向上への継続的取り組み  
 ◎質の低下を最小に、早期に復旧復興を進める  
 ⇒両方を実現する防災・BCへの取組み

今日を愛し、明日に備える

【中島みゆき】「ファイト!」から「ご清聴ありがとうございました!」まで

- Fight 闘う君の唄を闘わない奴等が笑うだろう
- Fight 冷たい水の中をふるえながら上っていけ
- 中島みゆき「ファイト!」から
- ご清聴ありがとうございました!

【中島みゆき】「ファイト!」から「ご清聴ありがとうございました!」まで

| 防災塾アンケート用紙（とりまとめ）                                      |                  |          |                                         |            |             |       |     |      |                |                                     |  |
|--------------------------------------------------------|------------------|----------|-----------------------------------------|------------|-------------|-------|-----|------|----------------|-------------------------------------|--|
|                                                        |                  |          |                                         |            |             |       |     |      |                | <div>日 付</div> <div>令和4年4月15日</div> |  |
|                                                        |                  |          |                                         |            |             |       |     |      |                | <div>地 区</div> <div>若林</div>        |  |
| 1-1) ご自身について（性別）                                       |                  |          | 1-2) ご自身について（年齢）                        |            |             |       |     |      |                |                                     |  |
|                                                        | ①男性              | ②女性      | 10代                                     | 20代        | 30代         | 40代   | 50代 | 60代  | 70代            | 80代以上                               |  |
| 数                                                      | 11               | 9        | 0                                       | 1          | 0           | 3     | 3   | 2    | 7              | 3                                   |  |
| 1-3) ご自身について（職業）                                       |                  |          |                                         |            |             |       |     |      |                |                                     |  |
|                                                        | ①会社員             | ②公務員     | ③団体職員                                   | ④自営業       | ⑤パート・アルバイト  | ⑥専業主婦 | ⑦無職 | ⑧その他 |                |                                     |  |
| 数                                                      | 4                | 2        | 3                                       | 1          | 1           | 2     | 4   | 3    | ・民生委員・ケアマネージャー |                                     |  |
| 2 今まで参加した防災塾の開催年度について                                  |                  |          |                                         |            |             |       |     |      |                |                                     |  |
|                                                        | ①令和元年度（平成31年度）以前 |          |                                         | ②令和2年度     | ③令和3年度      |       |     |      |                |                                     |  |
| 数                                                      | 6                |          |                                         | 3          | 2           |       |     |      |                |                                     |  |
| 3 防災塾に参加して、地域防災について十分な意見交換や議論ができたと思いますか。               |                  |          |                                         |            |             |       |     |      |                |                                     |  |
|                                                        | ①十分できている         | ②ややできている | ③どちらとも言えない                              | ④あまりできていない | ⑤まったくできていない |       |     |      |                |                                     |  |
| 数                                                      | 7                | 9        | 1                                       | 1          | 0           |       |     |      |                |                                     |  |
| 4 上記の「3」の理由をご自由にご記入ください。                               |                  |          |                                         |            |             |       |     |      |                |                                     |  |
| ・日常の活動ではなかなか接点のない方と話ができる ・色々な立場の方と話し合いができたので、良かったと思います |                  |          |                                         |            |             |       |     |      |                |                                     |  |
| ・皆さんと話し合いを真剣にしました ・地区の関係者が集まることで、我が事として考えられる機会となった     |                  |          |                                         |            |             |       |     |      |                |                                     |  |
| ・事前計画が必要 ・まだもう少し時間が必要だと思う。若林地区の独自の事情を考慮した話し合いも考えたい     |                  |          |                                         |            |             |       |     |      |                |                                     |  |
| ・若林内の取り組みを伺うことができた ・具体的な課題解決のための対策に踏み込んだ議論ができなかった      |                  |          |                                         |            |             |       |     |      |                |                                     |  |
| 5 防災塾に参加して学んだことや気づいたこと                                 |                  |          |                                         |            |             |       |     |      |                |                                     |  |
|                                                        |                  | 数        |                                         | 数          |             |       |     |      |                |                                     |  |
| ①自分の地域でどのような災害が起こりうるかわかった。                             |                  | 5        | ⑤災害時の地域の課題が、地区住民の視点から具体化された。            |            | 9           |       |     |      |                |                                     |  |
| ②自分の地域でどの程度の被害が発生するかわかった。                              |                  | 4        | ⑥地区のいろんな方のアイデアが集まって、自分たちでできる災害対策が講じられた。 |            | 10          |       |     |      |                |                                     |  |
| ③災害時に自らがとるべき避難行動を理解することができた。                           |                  | 13       | ⑦参加した地域のいろんな方と関係性が作られた。                 |            | 11          |       |     |      |                |                                     |  |
| ④地域防災の考え方（住民の目線から課題と対策を検討する）を学ぶことができた。                 |                  | 8        |                                         |            |             |       |     |      |                |                                     |  |
| 6 今後の希望する「防災塾」の進め方について                                 |                  |          |                                         |            |             |       |     |      |                |                                     |  |
|                                                        |                  | 数        |                                         | 数          |             |       |     |      |                |                                     |  |
| ①今までと同じく、ワークショップ形式のグループで議論                             |                  | 14       | ⑥行政の防災担当者により防災対策の実態に関する詳しい説明            |            | 7           |       |     |      |                |                                     |  |
| ②課題や対策のテーマ別に関わる関係者だけがそれぞれ集まって具体的に議論                    |                  | 4        | ⑦防災専門の先生や被災対応経験者を招いた防災の工夫や事例に関する防災講演    |            | 9           |       |     |      |                |                                     |  |
| ③よりコアな少数のメンバーが集まって地区全体の課題と対策をより具体的に議論                  |                  | 3        | ⑧地域の課題と対策について、いろんな地区住民から広く意見がもらえる会合     |            | 4           |       |     |      |                |                                     |  |
| ④防災まちあるきや安否確認訓練などの体を動かす体験                              |                  | 7        | ⑨その他                                    |            | 2           |       |     |      |                |                                     |  |
| ⑤課題と対策のアイデアに関する他地区の防災活動の事例紹介                           |                  | 6        | （ 地域と福祉の連携、顔の見える関係づくり ）                 |            |             |       |     |      |                |                                     |  |

| 7 地区防災計画制度がつけられたが、本制度の内容はご存知ですか。                                                           |            |                                         |            |             |
|--------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-----------------------------------------|------------|-------------|
|                                                                                            | 数          |                                         | 数          |             |
| ①地区防災計画作成のガイドラインを読んだことがある。                                                                 | 5          | ④言葉は聞いたことがあるが詳しくは知らない。                  | 5          |             |
| ②他所の地区で作成された地区防災計画を読んだことがある。                                                               | 0          | ⑤全く知らない。                                | 1          |             |
| ③防災塾で説明を聞いたことがあり、ある程度は知っている。                                                               | 4          |                                         |            |             |
| 8 平成29年3月より、地区防災計画を区HPに掲載していますが、ご存知ですか。                                                    |            |                                         |            |             |
|                                                                                            | ①知っていた     | ②知らなかった                                 |            |             |
| 数                                                                                          | 9          | 5                                       |            |             |
| 9 地区防災計画の今後の見直し・検証において、重点的に実施したいと思うこと                                                      |            |                                         |            |             |
|                                                                                            | 数          |                                         | 数          |             |
| ①地域の課題に対し、防災まちあるきを通じた危険箇所や地域資源の発見と整理                                                       | 7          | ④検討した対策の実現に向け、地区全体の具体的なルールづくりや担当決め      | 7          |             |
| ②初期消火や要配慮者支援等の地域の課題別の防災マップ作成                                                               | 5          | ⑤計画に記載している課題と対策に加え、より多くの住民視点からの課題と対策の追加 | 3          |             |
| ③検討した対策の実現に向け、協力関係者への声かけと対策方法に関する話し合い                                                      | 8          | ⑥避難訓練、消火訓練等、災害時の対策が実現できるか体を動かした検証（実践）   | 6          |             |
| <その他>         ・何かあると高齢者や町会の人しか集まらない。まちの人みんな、子ども、若者みんなが参加することが大事<br>・わが地域の防災塾は、大変よくやっていると思う |            |                                         |            |             |
| 10 防災塾に継続して参加したいと思いますか。                                                                    |            |                                         |            |             |
|                                                                                            | ①継続して参加したい | ②都合がつけば参加したい                            | ③どちらとも言えない | ④あまり参加したくない |
| 数                                                                                          | 11         | 2                                       | 1          | 0           |
| 11 「防災塾」のご感想や「災害対策や地区防災計画」に関するご意見・ご要望など、自由にご記入ください。                                        |            |                                         |            |             |
| ・高齢者、障害者の避難の事例検討、訓練が必要    ・講師の方からの説明を受け、改めて自分事として考えていく必要があると感じました。                         |            |                                         |            |             |
| ・先生の話全区に広げ、区職員の意識を変えないといけない！！まずはそこから！！                                                     |            |                                         |            |             |
| ・地区内の地域資源となる団体、事業所、施設などとの連携強化    ・鍵屋先生のお話はわかりやすく、とてもリアルでよかった。                              |            |                                         |            |             |
| ・鍵屋先生の話はストーンと入ってきて楽しく、ポイントをついていてクールです。ありがとうございました。                                         |            |                                         |            |             |

## 防災塾 実施報告書

世田谷総合支所地域振興課

上町まちづくりセンター

(1) 実施日 令和4年12月3日(土曜日) 午前10時～11時15分

(2) 場所 上町まちづくりセンター 3階活動フロアー

(3) 参加人数 一般参加者17人、防災対策部会員2人

(4) テーマ  
「災害時のトイレについて」

(5) 実施内容

①開会

②災害時のトイレの使い方等についての講習会

(講師：世田谷ボランティア協会)

③質疑応答

④閉会

(6) 成果物 (講義の様子)



|                                                                  |                  |              |            |             |                                         |       |     |      |     |       |           |
|------------------------------------------------------------------|------------------|--------------|------------|-------------|-----------------------------------------|-------|-----|------|-----|-------|-----------|
| 防災塾アンケート用紙（とりまとめ）                                                |                  |              |            |             |                                         |       |     |      |     |       |           |
|                                                                  |                  |              |            |             |                                         |       |     |      |     | 日 付   | 令和4年12月3日 |
|                                                                  |                  |              |            |             |                                         |       |     |      |     | 地 区   | 上町地区      |
| 1-1) ご自身について（性別）                                                 |                  |              |            |             |                                         |       |     |      |     |       |           |
|                                                                  | ①男性              | ②女性          | 10代        | 20代         | 30代                                     | 40代   | 50代 | 60代  | 70代 | 80代以上 |           |
| 数                                                                | 4                | 15           |            |             |                                         |       | 4   | 7    | 6   | 2     |           |
| 1-2) ご自身について（年齢）                                                 |                  |              |            |             |                                         |       |     |      |     |       |           |
| 1-3) ご自身について（職業）                                                 |                  |              |            |             |                                         |       |     |      |     |       |           |
|                                                                  | ①会社員             | ②公務員         | ③団体職員      | ④自営業        | ⑤パート・アルバイト                              | ⑥専業主婦 | ⑦無職 | ⑧その他 |     |       |           |
| 数                                                                | 1                | 1            | 2          | 3           |                                         | 6     | 4   |      |     |       |           |
| 2 今まで参加した防災塾の開催年度について                                            |                  |              |            |             |                                         |       |     |      |     |       |           |
|                                                                  | ①令和元年度（平成31年度）以前 |              |            | ②令和2年度      | ③令和3年度                                  |       |     |      |     |       |           |
| 数                                                                | 2                |              |            | 1           | 1                                       |       |     |      |     |       |           |
| 3 防災塾に参加して、地域防災について十分理解できましたか。                                   |                  |              |            |             |                                         |       |     |      |     |       |           |
|                                                                  | ①十分にできている        | ②ややできている     | ③どちらとも言えない | ④あまりできていない  | ⑤まったくできていない                             |       |     |      |     |       |           |
| 数                                                                | 4                | 10           | 2          | 3           |                                         |       |     |      |     |       |           |
| 4 上記の「3」の理由をご自由にご記入ください。                                         |                  |              |            |             |                                         |       |     |      |     |       |           |
| ・平時からの準備の大切さを痛感した                                                |                  |              |            |             |                                         |       |     |      |     |       |           |
| ・防災トイレ用品が色々あるのが分かった                                              |                  |              |            |             |                                         |       |     |      |     |       |           |
| ・もう少し詳しい話が聞きたかった                                                 |                  |              |            |             |                                         |       |     |      |     |       |           |
| ・災害時のトイレの重要性を再確認することができた                                         |                  |              |            |             |                                         |       |     |      |     |       |           |
| ・トイレが使用できない時間が思っていた以上に長かったので、トイレを充実させたい。また、介護中なので介護用のおむつを多く用意したい |                  |              |            |             |                                         |       |     |      |     |       |           |
| 5 防災塾に参加して学んだことや気づいたこと（複数回答）                                     |                  |              |            |             |                                         |       |     |      |     |       |           |
|                                                                  |                  |              |            | 数           |                                         |       |     |      |     |       | 数         |
| ①自分の地域でどのような災害が起こりうるかわかった。                                       |                  |              |            | 4           | ⑤災害時の地域の課題が、地区住民の視点から具体化された。            |       |     |      |     |       | 3         |
| ②自分の地域でどの程度の被害が発生するかわかった。                                        |                  |              |            | 1           | ⑥地域のいろんな方のアイデアが集まって、自分たちでできる災害対策が講じられた。 |       |     |      |     |       |           |
| ③災害時に自らがやるべきことを理解することができた。                                       |                  |              |            | 12          | ⑦参加した地域のいろんな方と関係性が作られた。                 |       |     |      |     |       |           |
| ④地域防災の考え方（住民の目線から課題と対策を検討する）を学ぶことができた。                           |                  |              |            | 9           |                                         |       |     |      |     |       |           |
| 6 今後の希望する「防災塾」の進め方について（複数回答）                                     |                  |              |            |             |                                         |       |     |      |     |       |           |
|                                                                  |                  |              |            | 数           |                                         |       |     |      |     |       | 数         |
| ①ワークショップ形式のグループで議論                                               |                  |              |            | 3           | ⑥行政の防災担当者により防災対策の実態に関する詳しい説明            |       |     |      |     |       | 8         |
| ②課題や対策のテーマ別に関わる関係者だけがそれぞれ集まって具体的に議論                              |                  |              |            | 3           | ⑦防災専門の先生や被災対応経験者を招いた防災の工夫や事例に関する防災講演    |       |     |      |     |       | 8         |
| ③よりコアな少数のメンバーが集まって地区全体の課題と対策をより具体的に議論                            |                  |              |            | 1           | ⑧地域の課題と対策について、様々な方から広く意見がもらえる会合         |       |     |      |     |       | 4         |
| ④防災まちあるきや安否確認訓練などの体を動かす体験                                        |                  |              |            | 5           | ⑨その他（ ）                                 |       |     |      |     |       |           |
| ⑤課題と対策のアイデアに関する他地区の防災活動の事例紹介                                     |                  |              |            | 3           |                                         |       |     |      |     |       |           |
| 7 地区防災計画制度がつくられたが、本制度の内容はご存知ですか。                                 |                  |              |            |             |                                         |       |     |      |     |       |           |
|                                                                  |                  |              |            | 数           |                                         |       |     |      |     |       | 数         |
| ①地区防災計画作成のガイドラインを読んだことがある。                                       |                  |              |            | 4           | ④言葉は聞いたことがあるが詳しくは知らない。                  |       |     |      |     |       | 5         |
| ②他所の地区で作成された地区防災計画を読んだことがある。                                     |                  |              |            |             | ⑤全く知らない。                                |       |     |      |     |       | 5         |
| ③防災塾で説明を聞いたことがあり、ある程度は知っている。                                     |                  |              |            |             |                                         |       |     |      |     |       |           |
| 8 平成29年3月より、地区防災計画を区HPに掲載していますが、ご存知ですか。                          |                  |              |            |             |                                         |       |     |      |     |       |           |
|                                                                  | ①知っていた           | ②知らなかった      |            |             |                                         |       |     |      |     |       |           |
| 数                                                                | 4                | 10           |            |             |                                         |       |     |      |     |       |           |
| 9 地区防災計画の今後の見直し・検証において、重点的に実施したいと思うこと（複数回答）                      |                  |              |            |             |                                         |       |     |      |     |       |           |
|                                                                  |                  |              |            | 数           |                                         |       |     |      |     |       | 数         |
| ①防災まちあるきを通じた危険箇所や地域資源の発見と整理                                      |                  |              |            | 6           | ④地区全体の具体的なルールづくりや担当決め                   |       |     |      |     |       | 3         |
| ②初期消火や要配慮者支援等の地域の課題別の防災マップ作成                                     |                  |              |            | 6           | ⑤より多くの住民視点からの課題と対策の追加                   |       |     |      |     |       | 2         |
| ③協力関係者への声かけと対策方法に関する話し合い                                         |                  |              |            | 7           | ⑥避難訓練、消火訓練等、災害時の対策が実現できるか体を動かした検証（実践）   |       |     |      |     |       | 3         |
| <その他> 家が倒壊した場合の住民の救出作業について／ジャッキやノコギリの使い方                         |                  |              |            |             |                                         |       |     |      |     |       |           |
| 10 防災塾に継続して参加したいと思いますか。                                          |                  |              |            |             |                                         |       |     |      |     |       |           |
|                                                                  | ①継続して参加したい       | ②都合がつけば参加したい | ③どちらとも言えない | ④あまり参加したくない | ⑤まったく参加したくない                            |       |     |      |     |       |           |
| 数                                                                | 4                | 8            | 2          |             |                                         |       |     |      |     |       |           |
| 11 「防災塾」のご感想や「災害対策や地区防災計画」に関するご意見・ご要望など、自由にご記入ください。              |                  |              |            |             |                                         |       |     |      |     |       |           |
| ・今回の参加者の年齢層が高いため、小中学校のPTAにも参加してもらいたい                             |                  |              |            |             |                                         |       |     |      |     |       |           |
| 12. 上町地区の防災に関して課題だと思われることがあればご記入ください。                            |                  |              |            |             |                                         |       |     |      |     |       |           |
| ・トイレごみの分別は必要だと思う。分別後の回収に関して具体的なプランニングをしてもらいたい                    |                  |              |            |             |                                         |       |     |      |     |       |           |

## 防災塾実施報告書

世田谷総合支所地域振興課  
経堂まちづくりセンター

(1)実施日 令和5年3月18日(土曜日)10:00～11:30

(2)場所 桜丘区民センター 集会室兼体育室

(3)参加人数 32人

経堂地区町会、赤十字奉仕団経堂分団、民生・児童委員、小学校長、中学校PTA、世田谷消防団第16分団、介護サービス事業所、防災活動団体、経堂あんしんすこやかセンター

(4)実施内容

講演「避難所運営と在宅避難」＋首都直下地震被害想定を読み解く

講師 せたがや防災NPOアクション 宮崎 猛志氏

(5)アンケート集計結果

### 1 本日の講習内容についてはいかがでしたでしょうか？

- ・大変参考になり、とてもよかったです。
- ・とてもよかった。
- ・在宅避難の意味、考え方が良くわかった。
- ・とてもよく理解できました。在宅・・・備蓄は断続中ですが、長くなり、不足したら食品など受け取りに行こうと思った。ここは、今まで不安な所でした。
- ・初めての参加でしたが、ボランティア協会をもっと周知させてほしい。
- ・どれをとっても大変参考になった。
- ・具体的な話が聞けて良かった。
- ・避難の定義や在宅避難の必要性、避難所開設のポイント等、とてもわかりやすく説明して頂き、とても勉強になりました。世田谷の被災想定については、数字にとらわれず、備えをしっかりとっていく事が必要と実感しました。
- ・とてもためになった。
- ・災害に備えて、早め早めの対策を取っておくことが大事だと改めて思った。今後起こりうる災害に向けて、とても勉強になった。
- ・資料・講習内容もわかりやすかったです。在宅避難について特に具体的でしたので、数字以上の被害を初めてわかりました。
- ・とても貴重な内容で、しかも大変分かりやすい話でした。今後、災害時には役立てたいと思いました。
- ・本日は、大変ありがとうございました。大変参考になりました。
- ・すばらしい講演でした。
- ・良かったです。
- ・災害直後の3日間、在宅避難のための物資の準備が大切だということがよくわかりました。
- ・本日は急な所用のため、参加が残り30分ほどでしたが、災害・防災については、更に知識を深めたいと思いました。実際に経験された方、現場の運営などのお話を聞けたことはとても貴重な時間でした。

- ・資料がカラーで分かりやすかったです。災害の際にはもちろん在宅避難を意識してはいましたが、在宅での備えが充分でないことを再認識しました。
- ・非常に興味深く、自分自身の災害への備えを行い、命を守るだけでなく、周りの方も支えられるように、災害時は行動できるように努めて参ろうと感じております。
- ・わかりやすくて良かった。避難所の運営担当の重要性を改めて感じた。
- ・有意義な話だった。避難所運営に必要な事が具体的に見えてきた。
- ・在宅避難の話は聞いていましたが、改めて重要なことだと思いました。
- ・わかりやすかった。避難所の役割、準備が変わってきたことがわかった。在宅避難の方への支援も避難所の役割がありそうですね。

## 2 今後の防災を講習で受講してみたい内容がありましたら教えてください

- ・町会会議等に出張ボランティアで簡単でもいいので話をしてほしい。民協にもボランティア協会の人に参加してほしい。
- ・区の医療体制はどうなるのか。けが人の搬送先、受け入れ病院、医師会の体制 etc.
- ・地域の高齢者を中心とした避難方法や避難生活、備え等の対応について。
- ・学校避難所開設の時の注意点をもっと聞きたい。
- ・ボランティア運営
- ・子供も一緒に参加できる講習も行って欲しいです。
- ・福祉用具の使用法等
- ・在宅避難の周知が必要→在宅避難に役立つ準備等
- ・要支援者に対する避難行動について
- ・実際の避難所の動き、開設から運営。

## 3 ご意見(自由意見)ございましたらお願いします

- ・避難行動と避難生活は違うということ。それを踏まえて何ができるのか、地域で考えていけたらと思います。心のもやもやがまた少しとれました。
- ・とても分かりやすい説明でした。どれも重要な内容でした。これからにいかしたいと思います。災害時には色々な組織が動くのですが、それぞれの団体の一体的な運営の体系図を作ってもらいたいと思いました。
- ・犬や猫がいるので、家が壊れず在宅できることを願っています。
- ・なかなか住民に防災意識は浸透しにくいので、どうすればいいのか知恵が欲しい。
- ・在宅避難をひろめていきたいと思う。とても話が盛りだくさんで、全てを頭に入れるのは難しいと思った。
- ・在宅避難の重要性を改めて感じた。支援物資を必要な人に配り、無駄にしないことも大事だと思った。
- ・こういったセミナーにもっと参加したいと思います。
- ・データの出典が記載されていると、活用しやすいと思いました。
- ・本日は有意義なお話をありがとうございました。大災害は必ず来るといしながら、準備を進めたいと思っています。
- ・避難所の運営については、自分でもお手伝いできることがあるのではと思っています。こういう勉強会で地域の一員としてできることを考えるきっかけになり、良かったです。行政・地域・民間のボランティアがうまく連携していくことが必要と実感。
- ・参加人数が少ないのにテーブルがない。メモが取りにくい。ボランティア協会の存在は今日初めて聞いた。→実際の顔が見えていない。

- ・在宅で避難生活が送れるよう準備します。
- ・ありがとうございました。

#### (6) 質疑応答

Q1: 避難所ごとにボランティア協会が、サテライトを設置することを知らなかった。

A1: 避難所あてPR等していくよう、ボランティア協会へ働きかけしてまいります。

Q2: 都市計画道路の上町地区は完成したが、経堂地区はどうなっているのか？

A2: 事業主体である都の動向等を踏まえて、情報提供等に努めてまいります。

#### (講演)



#### (質疑応答)



#### (7) 講演資料

せたがや防災NPOアクション

4年度  
**防災塾**

『避難所運営と在宅避難』  
＋首都直下地震被害想定を読み解く  
せたがや防災NPOアクション

©2022 せたがや防災NPOアクション 無断転載禁止

せたがや防災NPOアクション

区内のNPO団体が、平時より顔の見える関係を築くとともに、発災時においてNPO団体同士の連携が図られるよう、ネットワーク化することを目的に、2014年5月に発足しました。ひっ迫する首都直下地震、激甚化する台風に備え、地域のみなさまとともに、私たちのまちを、災害に強い世田谷をめざし、一緒に活動する仲間を増やしていきたいと考えています。

- 活動テーマごとの分科会の実施－運営
- 全体会の企画・立案・実施
- 訓練（図上演習、情報連絡訓練）の実施
- 区内・区外の支援団体との関係づくり
- 防災塾、イベント・訓練等、地域の方との連携関係づくり
- 4者（区、社協、ボラ協、NPO）による連携体制への協力

©2022 せたがや防災NPOアクション 無断転載禁止

## せたがや防災NPOアクション

せたがや防災NPOアクション

- 実は、昔から基本は在宅での避難生活だった！
- ～阪神大震災、東日本大震災の避難生活を振り返って～
- コロナ禍を逆に取った避難所運営のススメとその準備
- 首都直下地震被害想定を読み解く
- 避難所から、被災者支援拠点に！

©2022 セタがや防災NPOアクション 無断転載禁止

## 皆さんにとっての避難所のイメージ

せたがや防災NPOアクション



禁止

## 皆さんにとっての避難所のイメージ

せたがや防災NPOアクション

ここで皆さんに質問です。  
この、石巻市立門脇中学校は、市内の高台にあります。  
海沿いの方々が多く避難されていますが、学校周辺の方はほとんどいません。  
【どうしてでしょうか？】



禁止

## 皆さんにとっての避難所のイメージ

せたがや防災NPOアクション

停電、断水していたとしても、  
「津波で家が流されていない方は、在宅での避難生活を選択しています」

みなさんは、家が無事でも、この写真のような体育館でも、  
避難所に入れてくれと言いますか？



©2022 セタがや防災NPOアクション 無断転載禁止

## 皆さんにとっての空地のイメージ

せたがや防災NPOアクション



禁止

## 皆さんにとっての避難所のイメージ

せたがや防災NPOアクション

### 1995年 阪神大震災

○避難人数（ピーク時）：316,678人

住家被害：全壊104,906棟、半壊144,274棟

全半壊合計249,180棟（約46万世帯）、一部損壊390,506棟

\*震災直前の1995年（平成7年）1月1日の神戸市の推計人口

152万0365人

\*一部損壊（+半壊世帯の一部）→どこで避難生活？

©2022 セタがや防災NPOアクション 無断転載禁止

## 『避難行動』と『避難生活』 この違いを意識しましょう！

### 【地震の場合】

家の周りはどうなっているの？・・・一時集合場所  
火事が起きて延焼が始まっている！・・・広域避難場所  
自宅が壊れて生活できない！・・・公設避難所

ここまでが『避難行動』  
ここからが『避難生活』

どこで『避難生活』を送りますか？  
自宅 or 避難所 or ???

## 《災害救助法での救助対象者の定義は？》

救助の対象（第2条）は、「災害によって被害を受け、現に救助を必要とするもの」

⇒避難所に避難した被災者だけに限定していない。

⇒自宅、勤務先などにいても、救助を必要とする場合は支援対象となる。

▼「救助を必要とする場合」とは ⇒ ライフラインの停止

## 大事なのは選択肢を確保しておくこと

### 「在宅避難」とは

災害が発生したときに、あなた自身や家族にケガがなく、住居にも危険な損傷がなければ、多少不便であっても、自宅で避難生活を送ることです。  
住み慣れた家で暮らすことによってストレスが減り、心身の健康を保ちやすくなるというメリットがあります。（世田谷区HPより）

||  
災害関連死の予防

### 「分散避難」とは

大勢が「指定避難所」に密集する避難生活状態を避けるために、「在宅避難」を含め、「自主避難」「縁故避難」「疎開避難」「車中避難」「庭先避難」といった、避難生活時の命を守るための選択肢を確保しておくことが大切。

||  
災害関連死の予防

## せたがや防災NPOアクション

○実は、昔から基本は在宅での避難生活だった！

## ○コロナ禍を逆手に取った 避難所運営のススメとその準備

○首都直下地震被害想定を読み解く

○避難所から、被災者支援拠点に！

## コロナ禍における避難所について考える

### 新型コロナウイルス 避難生活お役立ちサポートブック

JVOAD（認定NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク）

ゾーニングや受付設置方法、入室時の健康チェック表など図解が掲載されていますので、ダウンロードしてご覧ください。



第4版（2021年5月26日）

<http://jvoad.jp/guideline/>

## 第8波急拡大・・・

1. 避難所に行かない（在宅避難）

2. 屋外避難を黙認する（車中泊、テント）

3. 隣の隣町くらいに脱出（越境避難、疎開避難）

## 帰宅困難者、滞留者について

せたがや防災NPOアクション

支援施設を知っておこう！

| 施設            | 設置時期         | 支援次第         |
|---------------|--------------|--------------|
| 一時滞在施設        | 発災から最大3日程度   | 避難所に準じる。     |
| 帰宅困難者支援施設     | 発災から24時間程度まで | 飲料水、トイレ、休憩所  |
| 災害時帰宅支援ステーション | 発災後、都からの要請   | 飲料水、トイレ、支援情報 |

【一時滞在施設】国府高校、駒場高校、松原高校、世田谷市立、世田谷総合高等学校、駒沢オリンピック公園総合運動場、総合工科高等学校、園芸高等学校、深沢高等学校

【帰宅困難者支援施設】太子堂区民センター、上馬地区会館、代田区民センター、上北沢区民センター、経堂地区会館、北沢総合支所、深沢区民センター、桜新町区民集会所、砧区民会館成城ホール、大蔵第二運動場ロビー、烏山区民センター、世田谷郵便局

【災害時帰宅支援ステーション】



©2022 セタがや防災NPOアクション 無断転載禁止

## 避難所運営者が、まず備えること

せたがや防災NPOアクション

1. 看板の作成（在宅避難の指示）

2. 避難所運営計画の見直し（ゾーニング）

3. 受け入れ態勢の整備（受付、衛生・感染対策）

4. 協力の呼びかけ（回覧板、掲示板）

©2022 セタがや防災NPOアクション 無断転載禁止

### 1. 看板の作成

せたがや防災NPOアクション

（例）

避難されてきたみなさまへ

新型コロナウイルスに対する感染予防とクラスター対策の一環で、〇〇〇学校避難所では、火事で焼け出された、家屋が倒壊したなどやむを得ない事情がある方のみ、受け入れいたします。  
自宅が無事な方は全員「在宅避難」生活をお願いいたします。

〇〇〇学校避難所運営委員会  
委員長 世田谷 太郎

©2022 セタがや防災NPOアクション 無断転載禁止

### 1. 看板の作成

せたがや防災NPOアクション

（例）

帰宅困難者、駅前滞留者のみなさま

〇〇学校避難所は、地域住民に向けて開設された避難所です。

帰宅困難者向け避難所は「〇〇高校、△△高校」です。

また、休憩や各種支援情報は「◆◆区民センター、▼▼地区会館」で提供されます。

その他、◇◇や××が支援ステーションとなっています。受付で地図をお渡しします。ご協力をお願いいたします。

〇〇〇学校避難所運営委員会  
委員長 世田谷 太郎

©2022 セタがや防災NPOアクション 無断転載禁止

### 2. 避難所運営計画の見直し

せたがや防災NPOアクション

収容場所の見直しと居住区分の設定（ゾーニング）

| ゾーン | 状態                 | 対応                                              |
|-----|--------------------|-------------------------------------------------|
| A   | 咳・発熱等<br>感染の疑いがある人 | 暫定的に専用の部屋を準備<br>移送支援依頼                          |
| B   | 濃厚接触者              | 症状がある人の家族で無症状の人も暫定的専用部屋、Bゾーンで（間隔に配慮）<br>移送支援依頼  |
| C   | 自宅療養者              | 暫定的に専用の部屋を準備<br>移送支援依頼                          |
| D   | 要配慮者               | 暫定的専用部屋か、一般のスペース内に福祉避難スペースを確保<br>母子・福祉避難所への移送依頼 |
| E   | その他一般の人            | 一般の避難スペースへ                                      |

©2022 セタがや防災NPOアクション 無断転載禁止

### 3. 受け入れ態勢の整備

せたがや防災NPOアクション

手指の消毒・・・手洗い→乾燥→アルコール

手洗い水の確保（防災用井戸など）  
石鹸を持ちよる

ふき取り清掃・・・手袋→アルコール→ペーパータオル

スーパーの袋を持ち寄る  
次亜塩素酸ナトリウム溶液の作成（注意事項多い）  
（拭き掃除0.05%、500mlにキャップ1杯）

その他・・・段ボールの備蓄→パーティション用  
養生テープなどの備蓄  
ゴミ袋の備蓄  
感染予防着の準備

©2022 セタがや防災NPOアクション 無断転載禁止

## 4. 協力の呼びかけ

せたがや防災NPOアクション

回覧板、掲示板で協力の呼びかけ

○在宅避難のお願い

○避難所(サテライト)運営のお手伝いのお願い(在宅避難者で)

○物品の持ち寄りのお願い

- ・体温計
  - ・塩素系漂白剤
  - ・台所用洗剤、石鹸
  - ・スーパーの袋
  - ・ペーパータオル、タオル、手ぬぐい
  - ・段ボール、養生テープ、PPロープ、はさみ等
  - ・そのほか、必要な物
- ※運営者側を支援するためのもの

©2022. せたがや防災NPOアクション 無断転載禁止

## 今後に向けて、備え、考えること

せたがや防災NPOアクション

1. 移送手段の確保、体制づくり(行政)

2. 衛生物資の配布、長期避難所の確保(行政)

3. 在宅避難者への物資、情報提供体制づくり

4. 避難所の在り方の検討、刷新

©2022. せたがや防災NPOアクション 無断転載禁止

## せたがや防災NPOアクション

せたがや防災NPOアクション

○実は、昔から基本は在宅での避難生活だった！

○コロナ禍を逆に取った避難所運営の勤めとその準備

○首都直下地震被害想定を読み解く

○避難所から、被災者支援拠点に！

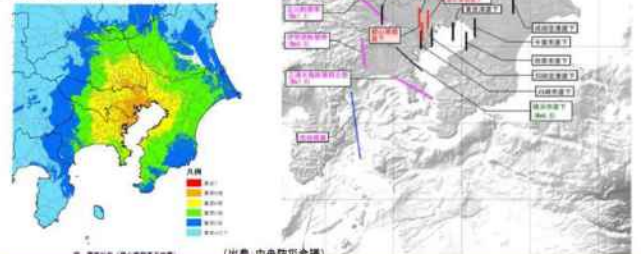
©2022. せたがや防災NPOアクション 無断転載禁止

## どこで、首都直下地震？

せたがや防災NPOアクション

異なる震源の複数の地震が想定されている。

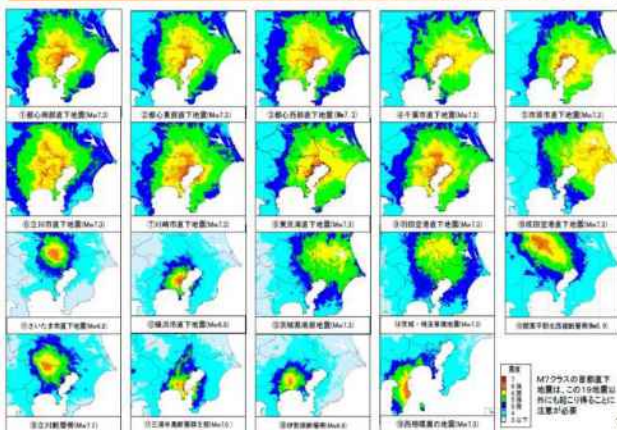
首都圏何処でも震度6強以上の可能性あり。



©2022. せたがや防災NPOアクション 無断転載禁止

## 首都直下地震(M7クラス、19地震)の震度分布

活断層、活断層沿いにM7クラスから震度6強を想定する地震19地震、各地、震源の異なる地震、被害を受ける側から被害想定を特定(震度1.3地震)



7

## 10年間の主な取組と減災効果

| 過去10年の取組 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 今回の被害想定と減災効果                                                                                                                                                                                              |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 耐震化      | <ul style="list-style-type: none"> <li>特定緊急輸送路沿道建築物の耐震化率 81.2%~91.6%</li> <li>住宅の耐震化率 81.2%~92.0%</li> <li>東京都市圏防災計画に基づく耐震化の促進</li> <li>耐震化促進率を算出し、平成24年から特定緊急輸送路沿道建築物の耐震化を義務化、世帯別耐震化率を算出し、平成30年からは耐震化率公表</li> <li>国や都府県に設置する防災支援や災害への専門的支援等による、住宅等の耐震化や耐震化促進の促進</li> <li>都府県の東京都市圏ワークアウト制度等による普及促進の実施</li> </ul>               | <ul style="list-style-type: none"> <li>建物全壊棟数 12万棟~8万棟</li> <li>揺れによる死者数 5,100人~3,200人</li> <li>人的・物的被害の想定は減少したものの、未だ大きな被害が想定</li> <li>耐震化の一層の促進に向けた仕組を構築する必要がある</li> </ul>                               |
|          | <ul style="list-style-type: none"> <li>水源地域不特定化10年プロジェクトを機に、特別な支援により耐震化を促進する不特定化地域制度の活用と、経済的支援を形成する特定緊急輸送路の整備を一併的に進め、国・都府県が認定される整備地域への対応を推進</li> <li>消防団員数 2.4万人~2.2万人</li> <li>消防団員や消防団員と地域防災の重要な役割を担う消防団員は減少</li> </ul>                                                                                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>損失棟数 20万棟~12万棟</li> <li>火災による死者数 4,100人~2,500人</li> <li>人的・物的被害の想定は減少したものの、未だ大きな被害が想定</li> <li>消防団員の減少など、地域の防災力低下も懸念されるため、ヘードはもとより消防団員も組織強化が必要</li> </ul>          |
| 不備化      | <ul style="list-style-type: none"> <li>水源地域不特定化10年プロジェクトを機に、特別な支援により耐震化を促進する不特定化地域制度の活用と、経済的支援を形成する特定緊急輸送路の整備を一併的に進め、国・都府県が認定される整備地域への対応を推進</li> <li>消防団員数 2.4万人~2.2万人</li> <li>消防団員や消防団員と地域防災の重要な役割を担う消防団員は減少</li> </ul>                                                                                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>家賃転賃による死者数 260人~240人</li> <li>様々なグループにより居住する「借家」を想定することで、自宅の防災対策は一定水準以上</li> <li>一方、時間的経過とともに大震災の被害の拡大が予想され、今回の被害想定で明らかになった、新たなリスク等も加えられた結果の防災対策の向上が不可欠</li> </ul> |
|          | <ul style="list-style-type: none"> <li>家具類転倒防止率実施率 53.6%~57.3%</li> <li>日常備蓄の実施率 46.4%~56.3%</li> <li>東京都市圏防災計画に基づく家具類転倒防止率の実施</li> <li>東京都市圏防災計画に基づく家具類転倒防止率の実施</li> <li>女性のリーダー人材を育成する防災コーディネーター研修の実施</li> <li>東京都市圏防災計画に基づく家具類転倒防止率の実施</li> <li>防災分野に力を入れてほしいと回答した人の割合 53.4~41.2%</li> <li>防災の防災分野に対する都府県の期待は低下傾向</li> </ul> |                                                                                                                                                                                                           |

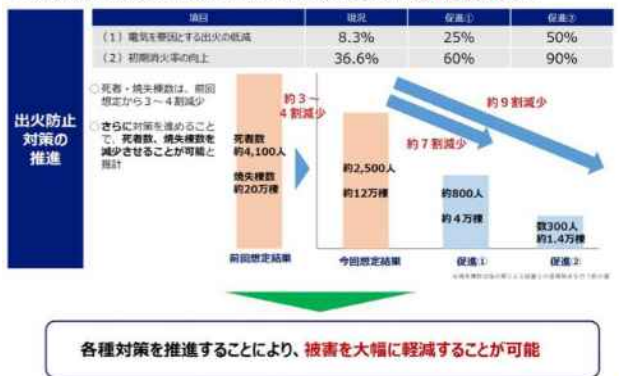
### 防災・減災対策による被害軽減効果 (竜・タカ/風速8m/s)

○ 建物耐震化等の現況に基づく被害量から、今後対策を進めた場合の被害軽減効果を推計



### 防災・減災対策による被害軽減効果 (竜・タカ/風速8m/s)

○ 建物耐震化等の現況に基づく被害量から、今後対策を進めた場合の被害軽減効果を推計



### 世田谷はどうなっちゃう？

せたがや防災NPOアクション

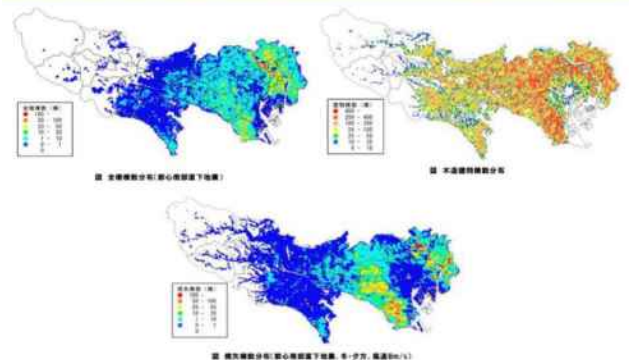
#### 被害想定算出時の世田谷区概況

|                                         |                           |
|-----------------------------------------|---------------------------|
| 建物総数：189,303棟<br>(木造：128,950、非木造60,353) | 人口：943,664人               |
| 全壊：6,464棟                               | 死者：645人                   |
| 半壊：17,036棟                              | 負傷：7,132人<br>(内、重傷1,212人) |
| 焼失：19,989棟                              | 避難者：252,337人              |

©2022 セタがや防災NPOアクション 無断転載

### 世田谷はどうなっちゃう？

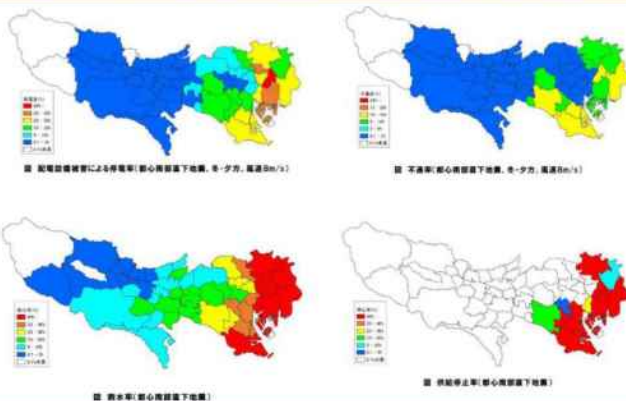
せたがや防災NPOアクション



©2022 セタがや防災NPOアクション 無断転載

### ライフラインはどうなっちゃう？

せたがや防災NPOアクション



©2022 セタがや防災NPOアクション 無断転載

### あなた自身の被害想定は？

せたがや防災NPOアクション

○地震が起きました。

あなたは何をしますか？自身の行動を5個あげてください。

○世田谷区の

◆全壊家屋 6,464/189,303=3.4%

◆焼失家屋 19,989/189,303=10.5%

◆死者 645/943,664=0.068%

◆負傷、重傷者 7,132/943,664=0.75%

◆避難者 252,337/943,664=26.7%

◆停電率 10%～20%

◆固定電話不通率 10%～15%

◆断水率 20%～30%

◆ガス停止率 10%～20%

◆携帯電話不通率 20%～40%以上

◆下水破損率 5%～10%

正常化  
の偏見



定量的・定性的被害想定読み解き

- 耐震（耐震補強）は重要。
- 家具の転倒防止で怪我をしない。
- 出火防止と初期消火が重要。通電火災にも備える。
- 倒壊物、火災延焼による道路の閉塞の可能性に備える（避難経路の確認）。
- エレベーターの安全確認長期化、使用不可に備える。
- 電気：停電だけでなく避難生活時の計画停電に備える。
- 通信：停電に伴い、不通期間が長引く可能性に備える。
- ガス：家庭ガスの安全確認は時間がかかる。
- 水道：（浄水施設次第）断水は限定的だが、家屋内の水道管確認に時間がかかる。
- 下水道：排水管修理に時間がかかる。上水道が復旧してもトイレが使えない可能性大
- 物流：港湾施設、道路修復（渋滞）、鉄路修復の期間に比例して物資不足に備える。

せたがや防災NPOアクション

○実は、昔から基本は在宅での避難生活だった！

○コロナ禍を逆に取った避難所運営のススメとその準備

○首都直下地震被害想定を読み解く

○避難所から、被災者支援拠点に！

～過去の被災地での事例から、  
参考にできる取り組みはないだろうか～

せたがや防災NPOアクション

過去の被災地の写真から

せたがや防災NPOアクション

～避難場所から被災者支援拠点へ～

【耐震化、不燃化の促進】→ 避難しなくていい街づくり  
→ 在宅避難によるストレスフリー

【特別なケアが必要な方】→ 避難所での集中対応が可能  
→ 次善の在宅避難者サポート

※在宅避難の課題は  
・・・孤立、情報弱者、支援の偏り、見落とし、食、初期医療・治療の遅れ、肉体・精神的疲労、... etc

被災者支援拠点として

見えやすい困り事  
・妊産婦、乳幼児・・・母子避難所の案内は？  
・障害者、要介護者・・・福祉避難施設への移送は？人数は？  
・持病のある方・・・診察可能な病院や処方薬の入手方法は？  
・外国人・・・宗教上の課題は？相談窓口は？＝どこにつなぐ？

見えにくい困り事  
・公的支援プログラム情報がわからない、罹災証明って？  
・家の中の片づけは？  
・子供を持つ世帯のどのくらいがアウェー育児か？  
・食物アレルギー、アナフィラキシー既往症の方は？  
・内疾患、精神疾患、普段は薬で対応できていた方は？  
・装身具や介護器具等の不具合は？  
・プライバシー保護、性犯罪防止、治安を守るためには？  
・ジェンダーギャップやLGBT理解は？  
・・・etc

## 被災者支援拠点を支援する

せたがや防災NPOアクション

避難所・被災者支援拠点の運営にかかわる方々、外部支援を頼ってください。

「誰が、何に困っているか」という個人情報はいりません。

「どんなことに困っている人が、何人くらい、いつまでにどれだけ増え・減りそうか」というニーズ情報をください。

世田谷が被災したときの外部支援団体の窓口は  
「**せたがや防災NPOアクション**」が担います。

拠点は、世田谷線山下駅隣接の「たまでんカフェ山下」  
電話番号：03-5426-3737 FAX：03-5426-3738  
(平時はFAX 専用、発災時は電話回線としても使用)

©2022 セタがや防災NPOアクション 無断転載禁止

## 防災塾 実施報告書

世田谷総合支所地域振興課  
下馬まちづくりセンター

- (1) 実施日 令和4年11月12日(土曜日) 午前9時～正午
- (2) 場所 下馬区民集会所
- (3) 参加人数 54名(区民39名、日本大学危機管理学部准教授1名、学生14名)
- (4) テーマ ～発災後72時間は地区の力で乗り切る～
- (5) 実施内容

### ①講演会

『被害想定の見直しを踏まえた避難所運営と在宅避難者への支援』

講師：せたがや防災NPOアクション 宮崎 猛志 氏

- ・今年起きた災害
- ・首都直下地震被害想定を考える。
- ・在宅避難をするための備え。
- ・在宅避難者支援を考える。

### ②世田谷地域地域交流ラボ中間発表

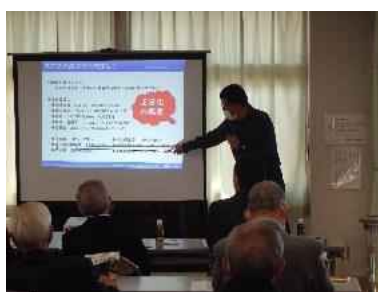
- ・世田谷地域地域交流ラボに参加している日本大学危機管理学部の学生が防災をテーマに下馬地区でフィールドワーク等をしながら調査・研究している内容についての中間報告をおこなった。4グループによる次のようなテーマの発表がおこなわれた。
- a. 感震ブレーカーによる地震火災の被害抑制について
- b. 帰宅困難者対策 ～民間の一時滞在施設の課題～
- c. 地震火災対策が進んでいる地域と進んでいない地域の差について
- d. 地域防災訓練の参加状況はどうなっているのか

### (6) 成果

- ・写真
- ・アンケート



講演会の様子①



講演会の様子②



学生の発表

| 防災塾アンケート用紙（とりまとめ）                        |                  |                                         |            |            |             |           |     |       |            |
|------------------------------------------|------------------|-----------------------------------------|------------|------------|-------------|-----------|-----|-------|------------|
|                                          |                  |                                         |            |            |             |           |     | 日 付   | 令和4年11月12日 |
|                                          |                  |                                         |            |            |             |           |     | 地 区   | 下馬         |
| 1-1) ご自身について（性別）                         |                  |                                         |            |            |             |           |     |       |            |
|                                          | ①男性              | ②女性                                     | ③未記入等      |            |             |           |     |       |            |
| 数                                        | 15               | 10                                      |            |            |             |           |     |       |            |
| 1-2) ご自身について（年齢）                         |                  |                                         |            |            |             |           |     |       |            |
|                                          | 10代              | 20代                                     | 30代        | 40代        | 50代         | 60代       | 70代 | 80代以上 |            |
| 数                                        |                  |                                         | 1          |            |             | 5         | 14  | 3     |            |
| 1-3) ご自身について（職業）                         |                  |                                         |            |            |             |           |     |       |            |
|                                          | ①会社員             | ②公務員                                    | ③団体職員      | ④自営業       | ⑤パート・アルバイト  | ⑥専業主婦（主夫） | ⑦無職 | ⑧その他  |            |
| 数                                        |                  | 1                                       | 2          | 2          | 2           | 2         | 11  |       |            |
| 2 今まで参加した防災塾の開催年度について                    |                  |                                         |            |            |             |           |     |       |            |
|                                          | ①令和元年度（平成31年度）以前 |                                         |            | ②令和2年度     | ③令和3年度      |           |     |       |            |
| 数                                        | 10               |                                         |            | 12         | 17          |           |     |       |            |
| 3 防災塾に参加して、地域防災について十分な意見交換や議論ができたと思いますか。 |                  |                                         |            |            |             |           |     |       |            |
|                                          | ①十分できている         | ②ややできている                                | ③どちらとも言えない | ④あまりできていない | ⑤まったくできていない |           |     |       |            |
| 数                                        | 3                | 11                                      | 5          | 4          | 1           |           |     |       |            |
| 4 上記の「3」の理由をご自由にご記入ください。                 |                  |                                         |            |            |             |           |     |       |            |
| ・ 講義内容が解りやすかった。                          |                  |                                         |            |            |             |           |     |       |            |
| ・ 時間がなく質問・意見交換が時間が足りなかった。                |                  |                                         |            |            |             |           |     |       |            |
| ・ 学んだことを実践してみようと思ったかを交流できるとよい。           |                  |                                         |            |            |             |           |     |       |            |
| ・ 防災の備えについては理解し、既に自宅での貯蔵物品については準備してある。   |                  |                                         |            |            |             |           |     |       |            |
| 5 防災塾に参加して学んだことや気づいたこと                   |                  |                                         |            |            |             |           |     |       |            |
|                                          | 数                |                                         | 数          |            |             |           |     |       |            |
| ①自分の地域でどのような災害が起こりうるかわかった。               | 16               | ⑤災害時の地域の課題が、地区住民の視点から具体化された。            | 3          |            |             |           |     |       |            |
| ②自分の地域でどの程度の被害が発生するかわかった。                | 15               | ⑥地区のいろんな方のアイデアが集まって、自分たちでできる災害対策が講じられた。 | 4          |            |             |           |     |       |            |
| ③災害時に自らがとるべき避難行動を理解することができた。             | 20               | ⑦参加した地域のいろんな方と関係性が作られた。                 | 4          |            |             |           |     |       |            |
| ④地域防災の考え方（住民の目線から課題と対策を検討する）を学ぶことができた。   | 19               |                                         |            |            |             |           |     |       |            |
| 6 今後の希望する「防災塾」の進め方について                   |                  |                                         |            |            |             |           |     |       |            |
|                                          | 数                |                                         | 数          |            |             |           |     |       |            |
| ①今までと同じく、ワークショップ形式のグループで議論               | 7                | ⑥行政の防災担当者により防災対策の実態に関する詳しい説明            | 18         |            |             |           |     |       |            |
| ②課題や対策のテーマ別に関わる関係者だけがそれぞれ集まって具体的に議論      | 7                | ⑦防災専門の先生や被災対応経験者を招いた防災の工夫や事例に関する防災講演    | 20         |            |             |           |     |       |            |
| ③よりコアな少数のメンバーが集まって地区全体の課題と対策をより具体的に議論    | 5                | ⑧地域の課題と対策について、いろんな地区住民から広く意見がもらえる会合     | 5          |            |             |           |     |       |            |
| ④防災まちあるきや安否確認訓練などの体を動かす体験                | 12               | ⑨その他（在宅避難・防災訓練参加者を増やす方法                 |            |            |             |           |     |       |            |
| ⑤課題と対策のアイデアに関する他地区の防災活動の事例紹介             | 12               | ）                                       |            |            |             |           |     |       |            |

| 7 地区防災計画制度がつくられたが、本制度の内容はご存知ですか。                                                   |            |                                         |            |             |              |
|------------------------------------------------------------------------------------|------------|-----------------------------------------|------------|-------------|--------------|
|                                                                                    | 数          |                                         | 数          |             |              |
| ①地区防災計画作成のガイドラインを読んだことがある。                                                         | 11         | ④言葉は聞いたことがあるが詳しくは知らない。                  | 7          |             |              |
| ②他所の地区で作成された地区防災計画を読んだことがある。                                                       | 5          | ⑤全く知らない。                                | 2          |             |              |
| ③防災塾で説明を聞いたことがあり、ある程度は知っている。                                                       | 4          |                                         |            |             |              |
| 8 平成29年3月より、地区防災計画を区HPに掲載していますが、ご存知ですか。                                            |            |                                         |            |             |              |
|                                                                                    | ①知っていた     | ②知らなかった                                 |            |             |              |
| 数                                                                                  | 12         | 9                                       |            |             |              |
| 9 地区防災計画の今後の見直し・検証において、重点的に実施したいと思うこと                                              |            |                                         |            |             |              |
|                                                                                    | 数          |                                         | 数          |             |              |
| ①地域の課題に対し、防災まちあるきを通じた危険箇所や地域資源の発見と整理                                               | 15         | ④検討した対策の実現に向け、地区全体の具体的なルールづくりや担当決め      | 8          |             |              |
| ②初期消火や要配慮者支援等の地域の課題別の防災マップ作成                                                       | 9          | ⑤計画に記載している課題と対策に加え、より多くの住民視点からの課題と対策の追加 | 9          |             |              |
| ③検討した対策の実現に向け、協力関係者への声かけと対策方法に関する話し合い                                              | 9          | ⑥避難訓練、消火訓練等、災害時の対策が実現できるか体を動かした検証（実践）   | 12         |             |              |
| <その他>                                                                              |            |                                         |            |             |              |
| 10 防災塾に継続して参加したいと思いますか。                                                            |            |                                         |            |             |              |
|                                                                                    | ①継続して参加したい | ②都合がつけば参加したい                            | ③どちらとも言えない | ④あまり参加したくない | ⑤まったく参加したくない |
| 数                                                                                  | 14         | 7                                       | 2          |             |              |
| 11 「防災塾」のご感想や「災害対策や地区防災計画」に関するご意見・ご要望など、自由にご記入ください。                                |            |                                         |            |             |              |
| ・参加者の質問・意見を聞くと、防災の対する意識の高さを感じた。                                                    |            |                                         |            |             |              |
| ・具体的には地区防災の実例を知りたい。                                                                |            |                                         |            |             |              |
| ・個人として、町会としての取り組み方が解った。                                                            |            |                                         |            |             |              |
| ・災害時の物資や機材の使い方の資料の作成があるとよい。                                                        |            |                                         |            |             |              |
| ・防災塾で得た知識や、地域防災計画については広く地域住民に還元してこそ価値があるが、参加者が限られている。                              |            |                                         |            |             |              |
| ・多くの人（特に若い世代）に防災意識を持ってもらうため、PTAや学生など多くの人に声掛けをしてほしい（町会が高齢化や役員のなり手がいない）。             |            |                                         |            |             |              |
| ・行政が既に発行した「東京防災」「区民防災マップ」「災害時区民行動マニュアル」や町会総連合会で作成した「地区防災マップ」「在宅避難のすすめ」等で充分だと思われるが。 |            |                                         |            |             |              |
| ・グループ協議を取り入れてほしい。                                                                  |            |                                         |            |             |              |
| ・もっと時間（1日でも）をかけてもよいのでは。                                                            |            |                                         |            |             |              |
| ・地区での個別指導はできにくいので、町会単位で開催してほしい。                                                    |            |                                         |            |             |              |
| ・ボランティア活動を軸としたものがあってもよいのでは。                                                        |            |                                         |            |             |              |
| ・本地区で学生の研究が行われていたことに驚いた。研究の成果が今後の参考になるとよい。                                         |            |                                         |            |             |              |

## 防災塾 実施報告書

世田谷総合支所地域振興課

上馬 まちづくりセンター

- (1) 実施日 令和5年1月29日（日曜日）午後2時～午後3時40分
- (2) 場所 上馬まちづくりセンター活動フロアー
- (3) 参加人数 21人（一般17人、区職員4人）
- (4) テーマ

防災と気象情報の使い方、身の守り方

- (5) 実施内容

### 第1部 講演会

講師 株式会社ウェザーマップ所属

気象予報士 防災士 晴山 紋音 氏

#### 主な内容

- ・なぜ気象被害がでるのか
- ・信頼できる情報を入手することが大切
- ・防災は経験から学ぶことが多く、記録や伝承も重要
- ・普段から選択肢、案を複数持って行動する
- ・天気予報は天気マークだけではわからない点も含むことに注意
- ・災害時の避難は火災の有無や自宅の損傷状況により行き先が異なる
- ・安否確認、連絡の手段を普段から確認しておく

### 第2部 動画上映（上馬まちづくりセンター令和4年制作）

- ・非常食基礎編
- ・非常食実践編

#### アンケート記入

- (6) 成果物

次第

チラシ

上馬地区人口と特性

写真

# 令和4年度上馬地区防災塾スケジュール

令和5年1月29日（日） 14時～

上馬まちづくりセンター活動フロア

開会

- 1 あいさつ                      上馬地区町会連合会                      会長  
                                          上馬地区区民防災会議                      代表 白須 勝敏

世田谷総合支所地域振興課長      佐久間 聡

- 2 上馬地区防災計画について

上馬まちづくりセンター      まちづくり・防災担当係長

- 3 第一部 講演 「防災と気象情報」

株式会社ウェザーマップ所属 気象予報士 防災士 晴山 紋音 氏

質疑応答

- 4 第二部 防災動画上映 ①「非常食基本編」②「同実践編」

（上馬まちづくりセンター令和4年制作）

- 5 あいさつ                      上馬まちづくりセンター      所長 村上 陽一

- 6 アンケート記入

閉会

世田谷区  
主催♪



# 令和4年度上馬地区防災塾 気象予報士講演会と 防災ビデオ上映

**令和5年1月29日(日)午後2時から**

**(受付開始 午後1時45分)**

**上馬まちづくりセンター(上馬4-10-17)活動フロア**

**第1部 講演会(1時間) 第2部 ビデオ上映(20分)**

気象情報  
の活用

避難行動の  
大切さ

身を守る  
には?

在宅避難に  
役立つビデオ  
も上映

定員30名

費用無料  
申込みは  
下記へ



講師 晴山 紋音  
(はれやま あやね) 気象予報士

## マスク着用

**新型コロナウイルス感染症の状況により中止の場合があります。**

【申込み】上馬まちづくりセンター 03-3422-7415 平日8時30分から17時

FAX 03-5486-7668

## 上馬地区の人口

令和5年1月現在

|             |        |    |
|-------------|--------|----|
| 人口          | 28,926 | 人  |
| 世帯数         | 17,394 | 世帯 |
| 1世帯あたり      | 1.66   | 人  |
| 若年層数(15才未満) | 2,885  | 人  |
| 若年層率(15才未満) | 10.0   | %  |
| 高齢者数(65才以上) | 5,302  | 人  |
| 高齢者率(65才以上) | 18.3   | %  |

## 社会特性

〔令和3年修正〕

上馬地区防災計画より

|                 |              |                   |
|-----------------|--------------|-------------------|
| 細街路率            | 30.5         | %                 |
| 昭和56年以前木造建物棟数密度 | 121.7        | 棟/km <sup>2</sup> |
| 耐火率             | 64.5         | %                 |
| 土地利用(宅地)        | 72.2         | %                 |
| 土地利用(宅地以外)      | 27.8         | %                 |
| 鉄道駅             | 東急田園都市線駒沢大学駅 |                   |
| 産業              | 商業           | 92.1 %            |
|                 | 工業           | 7.9 %             |
|                 | 農業           | 0 %               |
| 昼間の人口           | 36,813       | 人                 |
| 夜間の人口           | 28,440       | 人                 |
| 昼夜間人口比          | 1.29         | —                 |

## 写真

